

平成 2 5 年度決算

主要施策成果説明書

岐阜県白川村

地方自治法（昭和 22 年法第 67 号）第 233 条第 5 項の規定により、
平成 25 年度白川村一般会計及び特別会計の歳入歳出決算に係る主要
な施策の成果を説明する書類を次のとおり提出する。

平成 26 年 9 月 18 日

岐阜県大野郡白川村長 成 原 茂

目 次

1. 平成 25 年度予算編成の基本方針	1
2. 決算の概要	2
・平成 25 年度一般会計決算状況（表 1）	4
・会計別歳入歳出決算額集計表（表 2）	5
・平成 25 年度繰越事業費の内訳（表 3）	6
・平成 25 年度基金年度末現在高（表 4）	7
3. 収入の状況（一般会計）	8
4. 財政健全化判断費比率	10
5. 主要施策（一般会計）	12
・ 1 款 議会費	14
・ 2 款 総務費	16
・ 3 款 民生費	22
・ 4 款 衛生費	31
・ 5 款 農林水産業費	36
・ 6 款 商工費	44
・ 7 款 土木費	51
・ 8 款 消防費	55
・ 9 款 教育費	58
・ 10 款 災害復旧費	71
・ 11 款 公債費	73
6. 特別会計	75
・ 国民健康保険 事業勘定の部	76
・ 国民健康保険 直診勘定の部	79
・ 簡易水道	82
・ 温泉開発	85
・ 白弓スキー場	88
・ 公共下水道	91
・ 介護保険 保険事業勘定	94
・ 介護保険 サービス事業勘定	97
・ 後期高齢者医療	100

平成 25 年度予算編成の基本方針

平成 25 年度予算編成は、私が基本目標として掲げた「いつまでも住み続けたいむらへ」の実現に向け、転出や死亡等による人口減少への対策を図るとともに、Uターン・Iターンによる人口増加策を強力に進めるために、各課及び各担当間の連携を図ることとを指示しました。

具体的な方針としましては、産業振興として、前年度より協議を進めている企業との誘致を確実なものとするよう進めること。また、合わせて、転入者等の住宅対策を検討すること。南部地区の活性化を図ることを目的として、大白川の有効活用を図るため、公園内の整備と並行しロングトレイル構想の実現を進めること。

住民への福祉向上対策として、高血圧や糖尿病などの改善対策を進める村民の心身ともに健康な人づくりを進めること。孤立集落対策として、道路・橋りょうの維持管理の徹底や、子どもや高齢者の情報確保等の対策を進めること。

教育振興対策として、教員住宅やプール・体育館などの建設構想など教育関連施設整備の推進を図ることや、学校教育に含まれない教育環境の充実を図ること。また、世界遺産集落保存に対する景観対策や交通環境対策など世界遺産保存対策の推進を図ること。特に、懸案である世界遺産集落の景観向上及び交通対策として、白川村診療所の移転計画を早急に進めること。その他、村民が積極的に村づくりに参加されており、地道に活動される団体等への支援を実施すること。など地域振興対策に対する積極的な予算編成といたしました。

こうした、積極的な予算編成を進めるための屋台骨として、無駄・むらの無い健全財政の確保を確立するため、白川村第 6 次総合計画の進捗状況並びにその効果を査定するとともに、それら業務が計画的に遂行されているか把握し、副村長並びに課長がこれら情報共有することを重点項目として基本方針に掲げました。



決算の概要

- 一般会計
- 特別会計

一般会計の歳入決算額は、対前年度比 5 億 873 万円減額（13.3 ポイント減）の 33 億 1,245 万円になりました。この他、7 つの特別会計の歳入合計金額を合わせた村の歳入予算額は、対前年度比 8 億 1,621 万円減額（16.3 ポイント減）の 41 億 8,203 万円です。

これに対し、一般会計の歳出決算額は、対前年度比 4 億 6,753 万円減額（11.4 ポイント減）の 32 億 3,249 万円になりました。また、特別会計の歳出合計金額を合わせた村の歳出予算額は、対前年度比 7 億 6,545 万円減（15.8 ポイント減）の 40 億 6,869 万円です。

一般会計においては、歳入歳出ともに前年度よりも減となった主な要因としましては、前年度において、保有基金の見直しを実施したことにより 4 億 6,774 万円を財政調整基金に積み直したことにより歳入・歳出ともに決算額を押し上げたため、今年度はともに減となりました。

特別会計においては、財政の安定化を図ることを目的として前年度において、下水道会計における事業債に係る繰上償還金 3 億 2,654 万円を行ったことにより、公債費が対前年度比較 2 億 8,807 万円減となったことが大きな要因となっています。

歳入歳出差引額から翌年度へ繰越すべき一般財源を差し引いた実質収支は、一般会計では 6,363 万円でした。標準財政規模から算出する実質収支比率は、やや低めの 3.3%となっていますが収支は安定しているといえます。

特別会計においては、いずれも財源不足を補うため一般会計からの繰出金により財政安定化を図っていますが、特別会計独立採算の原則から、効率的な収入財源の確保並びに歳出削減を図るなど一般会計と同様に健全財政に向け取り組んでまいります。

表 1

平成25年度 一般会計決算状況(歳入目的別、歳出目的別・性質別)								
						単位：千円		
歳 入 (目的別)			歳 出 (目的別)			歳 出 (性質別)		
区 分	決算額	構成比(%)	区 分	決算額	構成比(%)	区 分	決算額	構成比(%)
村 税	708,752	21.4	議 会 費	31,351	1.0	人 件 費	427,805	13.2
うち村民税	94,815	2.9	総 務 費	950,318	29.4	扶 助 費	64,946	2.0
うち固定資産税	589,382	17.8	民 生 費	242,857	7.5	公 債 費	335,307	10.4
うち軽自動車税	4,349	0.1	衛 生 費	109,086	3.4	義務的経費小計(A)	828,058	25.6
うち村たばこ税	12,454	0.4	農 林 水 産 業 費	171,964	5.3	物 件 費	459,169	14.2
うち入湯税	7,752	0.2	商 工 費	332,101	10.3	維 持 補 修 費	132,713	4.1
地 方 譲 与 税	22,303	0.7	土 木 費	549,309	17.0	補 助 費 等	283,281	8.8
利 子 割 交 付 金	708	0.0	消 防 費	221,474	6.9	そ の 他 小 計 (B)	875,163	27.1
配 当 割 交 付 金	957	0.0	教 育 費	272,508	8.4	経 常 的 経 費 小 計 (A+B)	1,703,221	52.7
株式等譲渡所得割交付金	1,521	0.0	災 害 復 旧 費	16,212	0.5	積 立 金	615,005	19.0
地方消費税交付金	20,925	0.6	公 債 費	335,307	10.4	投資及び出資金・賞付金	30,003	0.9
自動車取得税交付金	7,057	0.2	諸 支 出 金			繰 出 金	300,429	9.3
地方特例交付金	499	0.0	歳 出 合 計	3,232,487	100.0	そ の 他 小 計 (C)	945,437	29.2
地 方 交 付 税	1,302,324	39.3				普 通 建 設 事 業 費	567,617	17.6
交通安全対策特別交付金	0	0.0				災 害 復 旧 費	16,212	0.5
小 計	2,065,046	62.3				投 資 的 経 費 小 計 (D)	583,829	18.1
分担金及び負担金	25,588	0.8				臨 時 的 経 費 小 計 (C+D)	1,529,266	47.3
使用料及び手数料	88,450	2.7				歳 出 合 計	3,232,487	100.0
国 庫 支 出 金	269,179	8.1	※一般会計から特別会計への繰出金					
県 支 出 金	105,264	3.2	国民健康保険(事業勘定)	8,789				
財 産 収 入	88,346	2.7	国民健康保険(直診勘定)	18,170				
寄 附 金	63,538	1.9	簡易水道	28,831				
繰 入 金	698	0.0	温泉開発	44,509				
繰 越 金	121,161	3.7	白弓スキー場	13,536				
諸 収 入	141,812	4.3	公共下水道	140,188				
村 債	343,018	10.4	介護保険(事業勘定)	25,131				
後期高齢者医療広域連合 支 出 金	350	0.0	介護保険(サービス事業勘定)	0				
歳 入 合 計	3,312,450	100.0	後期高齢者医療	21,275				
			合 計	300,429				

表2

会計別歳入歳出決算額集計表

					(単位：千円)
区 分	予算のうち前年度からの繰越明許費 (ア)	歳入決算額	歳出決算額	うち翌年度への繰越明許費一般財源 (エ)	
	予算現額 (イ)			歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)
		繰越明許費を除く予算現額 (イ)-(ア)=(ウ)			実質収支額 (C)-(エ)
一 般 会 計	129,744	3,312,450	3,232,487	17,078	
	3,512,138			79,963	
	3,382,394			62,885	
国民健康保険 (事業勘定)	220,202	221,724	209,427	12,297	
	220,202			12,297	
国民健康保険 (直診勘定)	95,015	98,038	89,444	8,594	
	95,015			8,594	
簡易水道	61,652	59,662	59,592	70	
	61,652			70	
温泉開発	69,802	69,847	68,776	1,071	
	69,802			1,071	
白弓スキー場	20,304	20,341	19,403	938	
	20,304			938	
公共下水道	185,179	184,374	183,466	908	
	185,179			908	
介護保険 (事業勘定)	187,052	186,862	180,346	6,516	
	187,052			6,516	
介護保険 (サービス事業勘定)	3,331	3,297	574	2,723	
	3,331			2,723	
後期高齢者医療	25,480	25,436	25,178	258	
	25,480			258	
小 計	868,017	869,579	836,206	33,373	
	868,017			33,373	
合 計	129,744	4,182,029	4,068,693	17,078	
	4,380,155			113,336	
	4,250,411			96,258	

○一般会計において、繰越事業のために翌年度へ繰越すべき財源として17,078千円を差引いた実質収支額は62,885千円の黒字決算となった。

特別会計において、繰越事業が行われなため翌年度へ繰越すべき財源は0千円となることから、それぞれの会計においては黒字決算となっている。

表3

平成25年度繰越事業費の内訳

一般会計		(単位：千円)		
款別	事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳	
			未収入特定財源	翌年度へ繰越すべき財源
民生費	子ども子育て支援新制度施行事業	3,273	3,181	92
農林水産業費	農地費臨時経費	1,624	0	1,624
商工費	大白川園地施設整備事業	25,237	24,437	800
土木費	社会資本整備総合交付金防災・安全交付金事業(道路維持費)	141,294	129,732	11,562
	社会資本整備総合交付金防災・安全交付金事業(道路新設改良費)	66,000	63,000	3,000
合計		237,428	220,350	17,078
特別会計		(単位：千円)		
会計別	事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳	
			未収入特定財源	翌年度へ繰越すべき財源
合計		0	0	0

○一般会計における繰越事業は5事業を繰越した。この内、社会資本整備総合交付金事業にあつては次の事業が内訳となる。

【社会資本整備事業(道路維持費)】

- ・村道有家ヶ原橋線有家ヶ原橋改修事業 60,294千円
- ・村道御母衣長瀬線長瀬橋改修事業 52,000千円
- ・村道鳩谷馬狩線馬狩隧道改修事業 29,000千円

【社会資本整備事業(道路新設改良費)】

- ・鳩谷馬狩線落石防護柵設置工事 7,000千円
- ・木谷稗田線落石防護柵設置工事 59,000千円

特別会計にあつては、繰越事業による繰越はない。

表 4

平成 25 年度基金年度末現在高

区分・基金名		平成24年度 末現在高	平成25年度			差引 増減	対前年度 伸び率
			積立額	取崩額	現在高		
積立基金	財政調整	1,910,248	575,000		2,485,248	575,000	23.1
	減債	220,000			220,000	0	0.0
	(小計)	2,130,248	575,000		2,705,248	575,000	21.3
	り災救助	10,000			10,000	0	0.0
	ふるさと農村活性化	6,000			6,000	0	0.0
	せせらぎ公園小呂駐車場整備	2,497	4,352		6,849	4,352	63.5
	奨学資金給付	15,250			15,250	0	0.0
	小坂育英資金交付	27,917		132	27,785	△ 132	△ 0.5
	坂本教育振興	24,000	5,000		29,000	5,000	17.2
	少年スポーツ振興	11,000			11,000	0	0.0
	世界遺産合掌造り集落保存協力	12,558	11,891		24,449	11,891	48.6
	生活交通路線バス運行支援	4,840		566	4,274	△ 566	△ 13.2
	岐阜県消防操法大会運営基金	10,000	5,000		15,000	5,000	33.3
	小水力自家発電所基金		13,762		13,762	13,762	100.0
(その他特定目的基金の小計)	124,062	40,005	698	163,369	39,307	24.1	
積立基金の合計		2,254,310	615,005	698	2,868,617	614,307	21.4
定額運用基金	土地開発	33,000			33,000	0	0.0
	定額運用基金の合計	33,000			33,000	0	0.0
合計		2,287,310	615,005	698	2,901,617	614,307	21.2
積立基金	国民健康保険	29,015	175		29,190	175	0.6
	公共下水道	90,000	5,000		95,000	5,000	5.3
	介護保険財政調整	5,325	32	3,851	1,506	△ 3,819	△ 253.6
	小水力自家発電所	10,822			10,822	0	0.0
積立基金の合計		135,162	5,207	3,851	136,518	1,356	1.0
総合計		2,422,472	620,212	4,549	3,038,135	615,663	20.3

○財政調積金は、平成 26 年度以降において中学校体育館耐震補強工事など学校施設整備事業並びに白川診療所移転新築工事など大規模事業を控えているため、財源確保のため 575 百万円を積み立てた。小水力自家発電所基金は、しらみずの力による発生し電力を全量売電に切り替えたことに合わせて、温泉開発特別会計から一般会計からの基金の積み立てに見直したため新規の基金を創設した。



収入の状況

- 一般会計

一般会計の歳入決算のうち、最も大きなものは「地方交付税」の13億232万円で、対前年度比757万円減額（0.6ポイント減）となっています。算定における特徴としては、平成21年度に実施した大規模改修事業による統合小学校建設事業及び大郷簡易水道改良事業に係る償還が始まったことや、大規模償却資産等減収による基準財政収入額が影響したことにより交付税が算出されています。

2番目に大きなものは「村税」の7億875万円で、対前年度比2,110万円減額（2.9ポイント減）となっています。主な要因としては、83%を占める固定資産税は、大規模償却資産税の性質上の理由により毎年減少するため、2,896万円減（4.7ポイント減）となっています。

「国庫支出金」は対前年度比7,020万円減（20.7ポイント減）の26,918万円となっています。主な要因としては、前年度に実施いたしました防災行政無線設備改修工事など国庫補助金を伴う大規模事業が行われたものと比較して、補助事業が減少したことによるところが大きくなっています。

「県支出金」は対前年度比70万円増（0.7ポイント増）の10,527万円となっています。県支出金のうち、電源立地地域対策交付金5,261万円や福祉医療費助成事業協力費583万円などに交付されています。

「財産収入」は対前年度比3,340万円増（60.8ポイント増）の8,835万円となっています。普通河川流水占用料2,679万円のほか、当年度より小水力発電による電力を売電をはじめたことにより2,848万円が増額となっています。

「寄附金」は対前年度比1,448万円増（29.5ポイント増）の6,354万円となっています。増額となった要因としましては、世界遺産合掌造り集落保存寄付金が570万円の増及び、坂本振興基金寄付金として坂本様より500万円をご寄付いただいております。

「分担金及び交付金」は対前年度比403万円増（18.7ポイント増）の2,559万円となっています。主に高山市から常備消防職員派遣負担金1,540万円が含まれています。

以上が、平成25年度一般会計歳入決算の概要です。これら収入により、行政運営並びに第6次総合計画に基づく重点施策を実施し一定の成果を上げることができました。

平成25年度

財政健全化 判断比率

■ 実質赤字比率（早期健全化基準 15.0%）

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率により算出する比率であり、村の財政運営の悪化により赤字が発生した場合に生じる指標といえます。

平成 25 年度決算において、財政赤字が生じていないため比率はマイナスとなったことから当該指標には該当しませんでした。

■ 連結実質赤字比率（早期健全化基準 20.0%）

一般会計以外に公営企業会計等の別会計を含めた全会計の合算して赤字の程度を示すための比率であり、複数の会計のうち一つの会計が赤字が生じると全会計として大きな課題となります。

平成 25 年度決算において、一般会計並びに特別会計ともに財政赤字が生じていないため比率はマイナスとなったことから当該指標には該当しませんでした。

■ 実質公債費比率（早期健全化基準 25.0%）

村税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち公債費や公営企業債に対する繰出し金などの公債費を含めた実質的な公債費相当額に充当されたものに占める比率です。

村では、財政運営の悪化に伴い 18%を上回りましたが、財政健全化計画に基づき公債費の抑制や繰上償還などにより、前年度比 1.2 ポイント減少し 1.1%まで改善されています。

■ 将来負担比率（早期健全化基準 350. 0%）

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。一般会計等の借入金や公営企業、組合、設立法人等に対して将来支払っていく可能性のある負担等について現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標となります。

本村では、将来負担率が発生していないため当該指標には該当しませんでした。

主要施策

一般会計

- 目的別

主要施策記載説明

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
			【○○○○○】 ○○○○○		○, ○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○	○○
			【 】				
			上段【 】には担当課 下段には事業名(目名)				
			【 】				

上段【 】には担当課
下段には事業名(目名)

決算額の内訳

事業概要と成果

決算書の頁

主要施策

1款 議会費

- 総務課

1 款 議会費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	1	【総務課】 議員共済	8,414	7,593	退職年金 7 名、遺族年金 12 名に対する 共済負担金を支出。 議員共済会負担金 7,473 議員共済会事務局費負担金 120	32
1	1	1	【総務課】 議会臨時経費	562	711	議会議員は報酬の他に議員活動に対する 活動費を支給する。 議会事務局職員の事務軽減を目的に議 事録作成を専門業者に定例会及び臨時会 の議事録 6 件を委託した。 議会議事録作成委託料 529 政策活動費交付金 182	32
1	1	1	【総務課】 視察研修費	606	793	県選出国会議員への陳情を 7/10～12 日 に、3 国会議員及び関係省庁へ陳情要望を 実施した。他に議会改革の取り組みとして 全国議長会にて勉強会を実施した。 費用弁償 697 普通旅費 96	32

主要施策 2款 総務費

- 総務課
- 村民課
- 観光振興課

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
2	1	1	【総務課】 一般管理臨時 経費	225	33	毎年 11/3 に白川村表彰式を行い、1名 の村長表彰と関係企業に感謝状を贈呈し た。また、仕事始め式において勤続 30 年 以上の職員に対し表彰を実施した。	32 ～ 33
						白川村長表彰 対象者 1 名 18 職員表彰記念品 対象者 1 名 15	
2	1	1	【総務課】 白川村例規集デ ジタル化事業	6,384	2,410	村例規集が常に最新となるよう追録作 業(年 2 回)実施。また、条例等の改正が 正確に作成できるよう支援システムを導 入し効果があった。	32 ～ 33
						例規集データ更新追録作製業務 1,192 法制ソフト支援業務 210 条例ホームページシステム使用料 1,008	
2	1	1	【総務課】 区長会補助事業	190	299	11/24～25 日に 12 名の参加者で、京都・ 大阪方面に視察を実施。村で取り組んでい る企業誘致特に漬物工場について、打田漬 物で視察をした。	34
						区長会補助金 299	
2	1	1	【総務課】 白川村マイクロバス 運行業務委託 事業	6,822	6,822	公共交通の利用が困難であることから、 団体等の活動に要するバス運行を支援す る。村内外で述べ 167 回の利用があり、各 団体の活発な活動に寄与している。	33
						マイクロバス運行業務委託 6,822	
2	1	1	【村民課】 人権啓発経費	293	43	人権擁護委員の活動支援を目的に、高山 管内の人権関係の研修会等に参加いただ いている。	34
						高山人権擁護委員会研修会等負担金 43	

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
2	1	3	【総務課】 新公会計制度 導入経費	285	263	財務 4 表作成に係る公会計制度導入に 向けたコンサル経費 ----- 公会計制度合同コンサルタント委託業務 263	34
2	1	5	【総務課】 財産管理臨時 経費	1,479	36,116	保有財産の整理及び維持管理を進める ことにより、経費削減及び生活環境の向上 を図る。 ----- 庁舎手すり設置工事 315 庁舎内 LAN 配線工事 947 旧校長住宅解体工事設計管理費 294 旧職員住宅解体工事設計業務 294 旧職員・校長住宅施設解体工事 9,963 嘉念坊道場屋根葺替工事設計監理 284 嘉念坊道場屋根葺替工事 7,434 TV コンセント増設・移設工事 35 公有財産購入に伴う補償費 16,600	34 ～ 35
2	1	5	【総務課】 電算管理一般 経費	6,179	13,042	職員が使用するパソコン関係機器及び財務会 計機器、地域イントラネットに関するリース・保守料。 岐阜情報スーパーハイウェイは、平成 25 年度より 県内全市町村からの負担金徴収が行われて いる。 ----- 機器等保守委託料 5,371 データ移行業務委託料 525 機器リース料 3,887 岐阜県スーパーハイウェイ負担金 2,739 トナー等消耗品費他 520	34 ～ 35
2	1	5	【総務課】 庁用車リース事業	3,284	2,473	庁用車に係る経費削減及び安全性の確保 するためリース契約を行う。 ----- 賃借料（庁用車 5 台） 2,473	35
2	1	5	【総務課】 不動産登記委 託事業	285	921	土地建物の所有権移転等に係る事務処理 が円滑に進めることができた。（地目変更 登記、法定外公共物の合筆登記等） ----- 不動産登記業務委託 6 件 921	34 ～ 35

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
2	1	5	【総務課】 庁舎改修事業	0	4,974	老朽化した庁舎施設の改修及び、会議室用備品の購入により、職員が快適な業務を行える環境づくりの向上を図る。	35
			工事請負費(庁舎改修単独分) 3,000 備品購入費(会議室用机椅子他) 1,974				
2	1	5	【総務課】 庁舎耐震補強改修事業 ※繰越事業	33,118	49,575	庁舎の耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を行ったことにより、地震時における災害対策本部並びに避難所施設としての活用が可能となる。	34 ～ 35
			委託料 2,542 (庁舎耐震補強設計 651) (庁舎改修設計 1,891) 工事請負費 47,033 (庁舎耐震補強 20,573) (庁舎改修 26,460)				
2	1	7	【総務課】 交通安全協会 白川支部補助事業	360	360	高山交通安全協会白川支部への活動補助金	35
			交通安全協会事業補助金 360				
2	1	8	【観光振興課】 村外通勤者助成事業	2,160	2,440	定住人口の維持・増加を目的に、村に住所を置きながら村外に通勤する40歳以下の若者等に対し助成金を交付したことにより、定住促進の一助となった。	36
			通勤就職者助成給付 12名 2,440				
2	1	8	【観光振興課】 ふるさと博士 認定事業	3,000	693	村民の主体的な学びを促進することを目的に、パイロット事業等を実施したことにより、本制度の検証及びH26年度本格運用に向けての準備を整えることができた。	36
			「ふるさと博士」認定制度施行運用 業務委託 1件 693				

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
2	1	8	【観光振興課】 元気な地域づくり推進事業	0	2,676	特産品開発、魅力向上、移住者獲得等の実現を目的に、既存の委員会の再編を行ったことにより、真に必要な取り組みを推進していく体制を整えることができた。	36
			緊急新産業創出研究会交付金 2,633 村づくり活動支援事業補助金 43				
2	1	8	【観光振興課】 空き家再生活用事業	0	1,000	定住促進、限界集落化の防止、景観保全を目的に、空き家購入者に対し補助金を交付したことにより、定住人口の維持・増加を図ることができた。	36
			空き家購入費等補助金 1件 1,000				
2	1	8	【観光振興課】 加越能バス運行補助金	2,925	2,529	生活交通路線維持確保を目的に、加越能バスへの補助金等を継続的に交付したことにより、例年通りの路線数を維持することができた。	36
			民営乗合バス路線維持対策負担金 508 生活交通路線維持補助金 2,021				
2	1	8	【観光振興課】 濃飛バス運行補助金	231	231	生活交通路線維持確保を目的に、濃飛バスへの助成措置等を継続的に実施したことにより、例年通りの路線数を維持することができた。	36
			乗務員宿泊用施設借上料 231				
2	1	8	【観光振興課】 高速道路関連会社貢献事業	583	584	生活路線の利用しやすさの維持を目的に、白川～飛騨清見間の高速道路相当額を濃飛バスへ助成したことにより、通学定期券等の価格据え置きを維持できた。	36
			白川郷～飛騨清見間高速料金 584				

2 款 総務費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
2	1	8	【観光振興課】	0	1,004	村外の若者の視点、ノウハウを村づくりに取り入れることを目的に、地域おこし協力隊を全国に向けて募集したことにより、3名の協力隊員を迎え入れることができた。	35
			地域おこし協力隊募集事業			募集業務委託事業	210
						募集会場等施設借上料	212
						旅費等	582
2	1	8	【観光振興課】	0	2,132	地域の活性化を目的に、協力隊の賃金、住居関係費、活動経費等を支出したことにより、隊員が安心して地域おこし活動に従事することができた。	35
			地域おこし協力隊事業			住宅等賃借料	411
						賃金他諸費	1,721
2	1	9	【村民課】	0	98	県移譲事務交付金事業の一つであり、旅券受付業務、及び窓口業務に必要な事務消耗品費を購入	
			旅券発行事務費			消耗品費 1 件 (ラミネーター購入)	98
2	3	1	【村民課】	6,638	7,073	村民課等で使用している住民情報システム (住民記録、印鑑、国保、収納管理等) を円滑に運用するための費用を計上。	
			住民情報電算化事業			機器保守点検委託料	4,497
						電算処理業務委託料	1,596
						機器リース料	930
						消耗品 (トナー他)	50

主要施策

3款 民生費

- 村民課

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
3	1	1	【村民課】 介護手当支給 事業	1,210	2,520	在宅介護世帯へ助成することにより、経済的精神的負担を軽減が図られ、安心の在宅介護を推進できた。月額 10,000 円。(ただし、子育てと介護が重なっている世帯は月額 15,000 円) ・26 世帯(うち介護子育て 1 世帯)に支給 支給対象者 21 名	40
3	1	1	【村民課】 民生児童委員 協議会事業	356	358	民生委員の活動支援を目的に、補助金交付及び村外研修会を実施したことにより、独居高齢者の見守り等福祉事業活性化の成果があった。 委員報酬 22 研修旅費 84 補助金 150 需用費 102	39
3	1	1	【村民課】 身体障がい者 福祉協会事業	90	90	同協会の大野郡支部の活動支援を目的として助成する。身体障害者スポーツ大会への参加や、研修会への参加。 岐阜県身障者福祉協会大野郡支部補助金 90	40
3	1	1	【村民課】 身体障がい者 日常生活用具 給付事業	0	93	地域の実情にあわせ、障害福祉サービスでは対応できないサービスを要綱・規則により、日常生活用具給付を行った。平成 24 年度事業精算により返還金が発生した。 補装具 1 件 43 H24 地域生活支援事業返還金 50	40

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
3	1	1	【村民課】 障害者福祉サービス給付事業	9,757	11,763	障害者総合支援法に基づく福祉サービス費の給付。個々の障害の度合を調査により決定し給付を行う。	39 ～ 40
			障がい福祉サービス等扶助費 10,271 障害者児童給付費等支払手数料 15 H24 岐阜県自立支援給付金返還金 1,477				
3	1	1	【村民課】 緊急通報サービス事業	1,176	1,290	独居高齢者の安心安全の確保を目的に、緊急通報装置を設置し、24 時間対応の緊急通報や相談や、月 1 回以上の電話を実施。 ・ H25 年度設置数 41 世帯。	39
			緊急通報サービス委託料 1,054 緊急通報サービス機器使用料 236				
3	1	1	【村民課】 自立支援医療給付事業	558	758	障害者自立支援法に基づき、自立支援医療：心身の障害を除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度を行う。	39 ～ 40
			自立支援医療審査支払手数料 6 自立支援医療費（更生・育成）医療 546 H24 障害者医療費国庫補助金返還金 206				
3	1	1	【村民課】 在宅障がい者支援事業	0	3,670	在宅障がい者の生活支援を目的に、人工透析者の通院送迎、通院費の助成を行う。 H25 年度より個人負担金を無料化し、障がい者の生活の質の向上に寄与した。	39
			需用費（燃料費） 616 役務費（自動車保険料） 41 シルバー人材センター委託料 1,526 人工透析者移送車リース料 767 在宅障がい者交通費助成扶助費 720				

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
3	1	1	【村民課】 障がい者地域 生活支援事業	0	387	障がい者の相談、情報提供、助言などの 支援や虐待の防止、早期発見を目的に、飛 騨地域3市1村で地域生活支援センター共同運 営することで、障がい者福祉の向上に貢献 した。	39
						精神障害者地域活動支援センター等委託金 4 件	
3	1	1	【村民課】 不妊治療費助 成事業	175	130	不妊治療を受けている夫婦に対し、治療 費の一部を助成することで、経済的負担の 軽減を図り、生命を育むみ、人生を豊かに することを目的として実施。	40
						不妊治療費助成扶助費 1 件	
3	1	1	【村民課】 外出支援事業	3,138	6,501	家庭に引きこもりがちな高齢者の外出 支援を目的に、「まめなか」を村内で無料 運行し、お年寄りの通院や買い物のための 交通手段を提供できた。	39 ～ 40
						需用費（燃料費他） 798 役務費（自動車損害保険料他） 229 まめなか運行業務委託料 2,313 まめなかリース料 454 まめなか購入備品購入費 2,699 まめなか重量税公課費 8	
3	1	1	【村民課】 結婚支援事業	500	1,819	少子化対策として村民の晩婚化、未婚化 を防ぐ目的で結婚支援事業を実施した。 この事業をきっかけに2組の方が結婚 された。	39
						旅費 24 需用費（合コンチラシ・ポスター等印刷費） 88 白川合コン開催他事業管理委託料 1,092 白川合コン開催会場使用料 15 結婚祝金 6 件 600	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書					
款	項	目		24 年度	25 年度							
3	1	2	【村民課】 生きがい活動 支援通所事業	4,600	5,063	引きごもりがちな高齢者の孤独感の解消、介護の予防を目的に、デイサービスセンターの運営を愛知慈恵会への補助金方式により実施し、お年寄りの入浴や食事、リクレーションなどのサービスを提供できた。	40					
			<table border="0"> <tr> <td>需用費（デイサービスセンター修繕料）</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>生きがい活動支援事業所補助金</td> <td>4,600</td> </tr> </table>			需用費（デイサービスセンター修繕料）		463	生きがい活動支援事業所補助金	4,600		
需用費（デイサービスセンター修繕料）	463											
生きがい活動支援事業所補助金	4,600											
3	1	2	【村民課】 ホームヘルプ サービス 事業	3,400	3,400	在宅で生活している高齢者等の生活の質の向上を目的に、ホームヘルパーを派遣し軽易な日常生活上の援助サービスを提供できた。	40					
			<table border="0"> <tr> <td>ホームヘルプ サービス事業委託料</td> <td>3,400</td> </tr> </table>			ホームヘルプ サービス事業委託料		3,400				
ホームヘルプ サービス事業委託料	3,400											
3	1	2	【村民課】 敬老会開催経 費	1,114	1,694	村の礎を築かれてきたお年寄りに敬意を表し、楽しんでいただくために敬老会を開催し、70 歳以上の方 110 名参加していただいた。	40					
			<table border="0"> <tr> <td>百歳記念祝金 3 名</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>敬老会記念品</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>需用費（お弁当他）</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>イベント派遣委託料他</td> <td>518</td> </tr> <tr> <td>会場借上料</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>備品購入費（椅子 100 脚）</td> <td>229</td> </tr> </table>			百歳記念祝金 3 名		300	敬老会記念品	223	需用費（お弁当他）	405
百歳記念祝金 3 名	300											
敬老会記念品	223											
需用費（お弁当他）	405											
イベント派遣委託料他	518											
会場借上料	20											
備品購入費（椅子 100 脚）	229											
3	1	2	【村民課】 老人クラブ 連合 会補助金	570	620	単位老人クラブ間の連絡調整、老人福祉及び地域福祉増進に寄与する目的で、補助金を交付。白川村明生長寿連合の講演会、研修会、体育大会などの活動費として活用された。	40					
			<table border="0"> <tr> <td>老人クラブ 連合会補助金</td> <td>620</td> </tr> </table>			老人クラブ 連合会補助金		620				
老人クラブ 連合会補助金	620											

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
3	1	2	【村民課】 老人等住宅屋根雪下し事業	412	223	高齢者等の冬の暮らしの安全確保と福祉の向上を目的に、屋根雪下ろし等の費用を助成。近隣市では合併により回数制限や制度廃止されており、当村の特徴ある制度として高齢者福祉に寄与している。	40
						屋根雪下し補助金 1 件	
3	1	2	【村民課】 老人日常生活用具給付費	651	774	在宅で寝たきり高齢者を介護している世帯への福祉向上の目的で、介護保険の給付対象外の杖を支給し、家族の身体的・精神的・経済的な負担を軽減できた。	40
						杖等日常生活用具給付扶助費	
3	1	2	【村民課】 老人温泉入浴扶助費	674	639	高齢者、障がい者の福祉増進を目的に、村内の温泉施設で年間 10 回まで利用できる入浴助成券を配布し、温泉での保養と生活にうるおいを提供した。	40
						需用費（印刷製本費入浴券 500 冊）	
						老人等温泉入浴助成扶助費	610
3	1	2	【村民課】 シルバー人材センター運営費補助金	1,200	735	高齢者の社会参加・貢献・いきがいつくりと労働力提供を目的に、シルバー人材センターの運営費を補助することで、センター運営が安定し高齢者の社会参加を推進した。	40
						シルバー人材センター運営補助金	

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
3	1	2	【村民課】 高齢者バス利用 費助成事業	336	284	<p>高齢者の移動を支援する目的で、村外への唯一の公共交通機関であるバスの定期代の半額を助成し、高齢者の村外通院や買い物の負担を軽減できた。</p> <p>高齢者バス利用助成扶助費 2社(加越能バス・濃飛バス) 284</p>	40
3	1	2	【村民課】 居宅介護支援 事業所運営委 託事業	1,800	1,800	<p>業務の高度化、効率化を目的に、平成19年度まで村直営で運営していた居宅介護支援事業所を愛知慈恵会に運営委託した。</p> <p>居宅介護支援事業委託料 1,800</p>	40
3	1	2	【村民課】 独居高齢者等 配食サービス	68	60	<p>独居高齢者の食生活への不安解消、安否確認を目的に、配食サービスを実施。栄養バランスのとれた食事を提供できた。</p> <p>・週2回の夕食宅配を実施</p> <p>独居高齢者等配食サービス委託料 60</p>	40
3	1	4	【村民課】 県単福祉医療 費助成事業	10,526	12,412	<p>社会的、身体的にハンディのある方の医療費負担を軽減する目的で、直接的経済支援を行い、村民福祉の向上が図られた。</p> <p>乳幼児医療他福祉医療費扶助費 12,175 H24 福祉医療費助成事業返還金 237</p>	41

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
3	1	4	【村民課】 児童等医療費 助成事業	2,367	3,374	子育てに関する不安を軽減する目的で、 児童等医療に係る費用を直接的に負担し、 少子化対策子育て支援となった。 児童等医療費扶助費 3,374	41
3	2	1	【村民課】 学童保育事業	0	349	子育て家庭の学童の健全育成と就労の 両立を目的に、学童保育事業を実施。 学童保育運営委員会の事業を補助するこ とで、学童7名が利用した。 消耗品費 32 備品購入費 45 運営補助金(学童クラブ) 272	42
3	2	1	【村民課】 ごみ袋支給事 業	0	38	子育てや介護における精神的・経済的負 担を軽減する目的で、乳児や寝たきり高齢 者用のおツを処理するためのごみ袋を支給 し、暮らしの安心を確保できた。 需用費(消耗品)30L*800枚 38	42
3	2	1	【保育園】 父母の会補助 経費	90	90	両園の父母の会運営活動を目的に活動 費補助を実施したことにより、各種行事へ の参加が促され、会員相互の親睦が深まる とともに園児とのふれあいの成果があっ た。 保育園父母の会補助金 90	42

3 款 民生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
3	2	2	【村民課】 児童手当支給 事業	29,445	27,715	<p>村に住所を有する中学卒業までの児童を養育している全ての世帯（受給者）に手当を支給する。※公務員世帯を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0~3 歳未満 15,000 円 ・3 歳以上 第 1 子・2 子 10,000 円 小学校修了前 第 3 子以降 15,000 円 ・中学生 一律 10,000 円 <p>児童手当支給 27,715 中学生以下の子どもを養育する世帯 ※前年度は子どものための手当支給事業</p>	42
3	2	3	【保育園】 保育所臨時経 費	893	7,219	<p>保育施設の維持を目的に白保床暖房の配管及び電気系統、平保玄関上部のコンクリート壁修繕や屋根塗装工事を実施したことにより、施設のより長期利用が可能となる成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費（床暖房等修繕費） 1,733 委託料（屋根塗装設計費） 237 工事請負費（平瀬保育園及び若者等創作活動施設塗装工事） 5,249 	43
3	3	1	【村民課】 防災備蓄品整 備事業	115	527	<p>防災備蓄品整備を目的に、災害備蓄消耗品及び大型炊き出し器の購入したことにより、防災備蓄品確保の成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費（消耗品災害備蓄品購入） 144 備品購入費（大型炊き出し器） 383 	43

主要施策

4款 衛生費

- 総務課
- 村民課

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
4	1	1	【村民課】 歯科保健事業	441	397	歯科に関する健康の保持増進を目的として、ライフステージに応じた歯科健診と保健指導を行い、村民の歯科保健に対する意識の向上が得られた。	43
						歯科医師報償費 118 旅費（歯科医師） 200 需用費（フッ素洗口用消耗品他） 79	
4	1	1	【村民課】 母子保健事業	1,261	1,176	母子健康手帳の発行、妊婦健康診査費用助成を目的として、全ての妊婦に平等で適切な支援を行うことができた。	43
						母子手帳 15 冊他検診用消耗品等 19 妊婦健診業務委託他検診委託料 1,025 扶助費（新生児聴覚検査等 15 件） 132	
4	1	1	【村民課】 保健推進員活動事業	184	141	地域住民全体の健康意識の向上を目的として、保健推進員 22 名が保健師と協働して活動を行うことにより、住民の健康の保持増進に貢献ができた。	43
						報償費 141	
4	1	1	【村民課】 飛騨地域医療連携事業	1,590	1,509	救急医療サービス等の確保を目的に、協議会への負担金支払いを実施したことにより、飛騨地域医療の安定化と住民サービス向上の成果があった。	44
						救命救急センター・小児夜間初期救急・24H 電話医療相談・病院群輪番制運営等負担金 1,509	

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
4	1	1	【村民課】 高山赤十字病院リアック導入補助事業	0	1,000	飛騨地域の放射線医療技術の確保を目的に、高山赤十字病院へ補助金支払いを実施したことにより、地域医療の安定化と住民サービス向上の成果があった。 リアック(放射線治療外照射装置)導入補助金 高山市・飛騨市・下呂市・白川村 1,000	44
			【村民課】 住民健康診査事業	3,404	2,954	健康増進法に基づき、各種疾患の早期発見、健康の保持増進と疾病予防を目的として健康診査及びがん検診を行った。健康診査とがん検診を同時実施することで住民の利便性を図り、健康の保持増進に努めることができた。 需用費 (検視結果通知用封筒他) 133 役務費 (精密検査紹介状用封筒他) 13 委託料 (検診業務委託料他) 2,279 リース料 (健康管理システム他) 529	44
4	1	2	【村民課】 筋力トレーニング事業	3,567	3,120	メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム及び筋力低下の予防を目的として筋力トレーニングを行ったことで、参加者自身の健康意識の向上を図ることができた。 需用費 (万歩計 10 個他) 117 委託料 (健康増進支援コンサルティング) 1,523 使用料 (システム使用料他) 1,480	44
4	1	2	【村民課】 飛まわり会活動事業	249	143	食生活改善連絡協議会事業として行っている。独居高齢者の弁当配布、高齢者学級での昼食提供、学習会を行い、村民の食生活改善に貢献することができた。 旅費 (研修旅費 14 名) 11 需用費 (高齢者給食サービス用食材) 132	44

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
4	1	2	【村民課】 がん検診推進 事業費	395	472	子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診の 受診啓発と受診率の向上を目的として、検 診費用の全額助成を行うことで、がんとが ん検診についての啓発活動、受診機会の提 供につながった。 ----- 需用費（がん検診手帳・クーポン券他） 261 委託料（検診無料クーポン分委託料） 196 返還金（H24 感染予防事業費） 15	44
4	1	2	【村民課】 こころの健康 づくり事業	0	284	さまざまな悩みを抱えた人を対象とし て、住民一人一人が自殺予防やメンタルヘルスの 向上について行動がとれるようになること を目的として普及啓発活動を行ったこと で、疾病への理解や相談窓口についての 情報提供を行うことができた。 ----- 報償費（自殺予防啓発活動） 26 需用費（メンタルヘルス啓発物品他） 69 交付金（同事業推進委員会） 189	44
4	1	2	【村民課】 風しんワクチン接 種促進緊急対 策事業	0	5	先天性風しん症候群の発症予防を目的 として、妊娠を希望している女性と妊婦の パートナーを対象に風しんワクチンの予防接種費 用の助成を行うことで、感染予防に努める ことができた。 ----- 委託料（予防接種1名） 5	44
4	1	2	【村民課】 高齢者肺炎球 菌ワクチン予防接 種助成事業	0	105	高齢者が予防接種を受けやすい体制を 整備し、肺炎球菌に起因する肺炎の発症及 び重篤化の予防、及び、村民の健康寿命の 延伸を目的として高齢者肺炎球菌ワクチンの 予防接種の費用を全額助成することによ り、感染予防に努めることができた。 ----- 委託料（予防接種21名） 105	44

4 款 衛生費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
4	2	1	【総務課】 リサイクル保管庫運営経費	3,232	3,143	資源の再利用を図るとともに、廃棄物処理経費の削減を図るため積極的なリサイクルを進めており、リサイクル可能な資源として活用できるよう事業を実施した。 ----- 需用費(燃料費他) 1,157 役務費(粗大ごみ処理手数料他) 197 委託料(廃棄物処理業務委託等) 1,628 原材料費(リサイクルセンター一部改修等) 129	45 ~ 46
4	2	1	【総務課】 生ごみ処理機補助経費	0	23	ゴミの減量化を図るため、各家庭において生ゴミを処理するための、生ゴミ処理機の購入費用の一部支援を行った。 ----- 生ごみ処理機補助金1件 23	46
4	2	1	【総務課】 不法投棄対策事業	49	5	不法投棄の撲滅を進め、美しい村づくりに努める。不法投棄が発生した場合、警察に連絡するなど早急な対応を実施した。 ----- 廃材処理等手数料 5	45
4	2	2	【総務課】 塵芥処理一般経費	19,494	23,146	可燃ごみ、資源ゴミの一部を高山市に処理業務を委託している。ゴミ運搬業務に係る資源車やパッカー車等の整備を行っている。 ----- 需用費(パッカー車燃料代他) 2,850 役務費(ゴミ袋取扱手数料他) 1,500 委託料(可燃資源処理他委託料) 17,102 使用料(自動車借上げ料他) 25 備品購入費(粉碎機器) 81 負担金(敦賀市最終処分) 2,626 公課費(自動車重量税) 62	46
4	2	3	【総務課】 し尿処理一般経費	5,538	5,500	下水道処理がなされない汲取りによるし尿処理を高山市へ委託している。運搬業務に関しては業者へ委託している。 ----- し尿処理業務委託料(高山市) 5,468 し尿処理収集運搬業務補助金 32	46

主要施策

5款 農林水産業費

- 基盤整備課

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
5	1	2	【基盤整備課】 農業総務臨時経費	2,200	200	北方町の3小学校による「白川郷宿泊研修」受け入れを目的に様々な体験プログラムを実施し、村のグリーン・ツーリズム推進に成果があった。 ----- まるごと体験協議会活動支援負担金 200	47
5	1	3	【基盤整備課】 学校給食地産地消推進事業	290	454	学校給食において地元産農産物を積極的に活用することを目的に実施し、地産地消に基づいた食農教育推進の成果があった。 ----- 学校給食地産地消推進等負担金 454	48
5	1	3	【基盤整備課】 緊急新産業創出事業	0	884	白川村の新農産物開発を目的に材料費の補助金を実施したことにより優良な農産物が生産され成果が今後に期待がもてる。 ----- 新農林産物試験研究事業補助金 2件(キラゲ・ニンニク) 884	48
5	1	3	【基盤整備課】 自家用米消費促進補助金	0	2,142	農家が自家用米の消費拡大を目的に、農協が保有する精米機の更新を助成したことにより米の消費拡大に成果があった。 ----- 自家用米消費促進補助金(JA) 2,142	48

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
5	1	3	【基盤整備課】 元気な農業地 産構造改革支 援事業	0	4,546	農業規模拡大・生産性向上を目的に機械 等の整備に係る費用を助成したことによ り作業効率が向上した。また、新たな特産 品が開発も進められている。 ----- 残留農薬検査負担金 36 元気な農業地産構造改革支援事業補助金 3 件 4,510	48
			【基盤整備課】 青年就農給付 金	750	1,500	新規就農者の育成等を目的に交付金 を実施したことにより、新規就農者の育 成等に繋げることができた。 ----- 補助金（青年就農給付金 1 件） 1,500	48
5	1	3	【基盤整備課】 中山間地域等 直接支払事業	7,248	7,248	中山間地域における農地の維持管理を 目的に継続的な農業生産活動を行う農業 者等に交付金を交付したことで、農地維持 管理に成果があった。 ----- 交付金（中山間地域等直接支払交付金） 7,248	48
5	1	3	【基盤整備課】 中山間地域等 直接支払推進 事業費	52	54	中山間地域等直接支払事業に伴う消耗 品を購入したことで、事業を円滑に推進す る成果があった。 ----- 旅費（普通旅費） 2 需用費（消耗品等） 52	48

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
5	1	3	【基盤整備課】	57	57	農業推進を目的に、国からの補助金により農家に対して情報提供などを実施したことにより農家の意識向上等に繋げることができた。	48
			数量調整円滑化市町村推進事業			旅費(普通旅費) 8	
5	1	3	【基盤整備課】	0	294	経営所得安定対策事業の事務を円滑化にを進めることを目的に、飛騨地域農業再生協議会事務局の農協(本店)に補助金を助成したことにより円滑な交付金の事務処理が図れた。	48
			経営所得安定対策事務費補助事業			補助金(経営所得安定対策事業) 294	
5	1	3	【基盤整備課】	0	477	農業者の所得向上や地域の活性化を目的に、商品開発等にかかる機械・器具等の整備にかかる補助を実施し、農業経営の6次産業化推進へ成果があった。	48
			農業第6次産業化促進支援事業			農業第6次産業化促進支援事業 477	
5	1	3	【基盤整備課】	1,110	1,097	新飛騨食肉センター建設事業に係る負担金及び運営に係る負担金を支援します。平成33年までの債務負担行為として継続的に支出していきます。	48
			新飛騨食肉センター建設事業負担金			新飛騨食肉センター建設事業負担金 1,097	

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
5	1	6	【基盤整備課】 環境保全向上対 策事業	0	1,892	農家と非農家が農山村を守ることを 目的に各地域により事業を実施したこ とにより農地の保全や地域のつながり に成果があった。 農地水保管理支援交付金 1,892 (岐阜県農地水環境保全推進協議会)	48
5	1	6	【基盤整備課】 農地費臨時経費	2,465	6,838	農道等の地域要望に対応及び突発的な修 繕を実施。 有家ヶ原水路修繕 736 上長農地給水等修繕 175 上町水路土砂除去修繕 153 戸島頭首工管理道修繕 2,050 荻町地内農業用水漏水修繕 9 シュート尻用水取入口修繕 178 大郷用水減水調査修繕 294 大郷水路樹木根除去修繕 478 荻町木滝用水路減水調査修繕 500 戸ヶ野農道路側修繕 291 芦倉地区消火用水施設修繕 1,575 荻町上長農道石積修繕 261 有家ヶ原水路清掃修繕他 138 ※上町水管橋緊急補修工事 (H26 繰越)	48
5	1	6	【基盤整備課】 中山間地域農村 活性化総合事業	19,020	13,691	老朽化した農業用施設の改修及び、地域 要望に対応した県営中山間地域総合整備 事業に対する負担金。 飯島八ツ石地内防火水槽消火栓移設工事費 310 負担金(県営中山間総合整備事業) 13,381	48

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
5	2	2	【基盤整備課】 有害鳥獣捕獲事業	2,883	2,561	鳥獣による農業被害・生活環境被害等、危険の防止を目的に、イノシシ51、ニホンザル59、ツキノグマ1、ニホンザル6、カモシカ3頭を駆除・個体数調整を実施。狩猟税助成を実施したことにより鳥獣被害の減少に効果があった。 有害鳥獣(イノシシ・ニホンザル等)捕獲報償費 2,405 鳥獣害対策に係る消耗品 12 猟友会支援(狩猟税等)補助金 144	49
5	2	2	【基盤整備課】 花街道・花いっぱい運動推進事業	5,229	7,276	美しい村づくりを目的に、35団体に花苗の配布を実施及び道路外の植栽箇所における草刈等を実施したことにより目的に対する成果があった。 需用費(花壇用肥料他消耗品) 331 役務費(廃農薬処理手数料) 170 委託料(花苗育苗業務他委託料) 3,940 工事請負費(ガラスハウス解体業務) 2,835	49
5	2	2	【基盤整備課】 森林整備地域活性化支援事業	1,193	1,677	村有林の適切な管理を目的に、飛騨高山森林組合が長瀬地内34.47haの造林地について、森林経営計画の作成に対して交付金を交付したことにより、5年以内に間伐の実施など計画的な森林整備を行う。 森林整備活性化事業交付金 1,677 (飛騨高山森林組合)	49
5	2	2	【基盤整備課】 森林病虫獣害対策加速化事業	0	955	安心・安全な村づくりを目的に、森林病害虫駆除(シートくん除)30㎡を実施したことにより目的に対する成果があった。 森林病虫獣害対策加速化事業業務委託(飛騨高山森林組合) 956	49

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
5	2	2	【基盤整備課】 【観光振興課】 【保育園】 清流の国ぎふ 森林・環境基金 事業	5,124	5,644	森林の病虫害の駆除を目的に、枯損木伐倒 380 m ³ を実施した。また、有害鳥獣捕獲従事者の増員を目的に、銃猟免許取得 散弾銃等購入補助を実施した。 駆除 3 人*45 日 11.7 t 実施。 ボランティア 2 団体による防除作業も実施	49
			里山林整備事業 (飛騨高山森林組合) 3,870				
			特定外来植物防除事業 (観光：シルバー人材センター) 1,032				
			野生生物保護管理事業補助金 (基盤：猟友会他) 500 備品購入他 (保育園：ぎふの木おもちゃ) 153				
5	2	3	【基盤整備課】 水源林造成事業	0	3,201	公団造林地について適切な保育の実施を目的に、尾神・芦倉地内の造林地にて 14.31ha の除伐を実施したことにより目的に対する成果があった。 水源林造成事業 除伐工事 2,002	49
5	2	4	【基盤整備課】 村有林管理重機借上経費	0	14	4 月上旬長瀬地内作業道で発生した崩土除去に対応。 長瀬林道崩土除去作業 重機借上 14	50
5	2	4	【基盤整備課】 林道費臨時経費	1,862	2,766	地域要望による林道等の補修に対応及び突発的な修繕を実施。 横道林道横断柵修繕 903 上横谷線崩土除去修繕 115 飯島林道他草刈修繕 500 飯島タロビ林道修繕 620 牛首林道地盤面整備 334 牛首林道補修 294	50

5 款 農林水産業費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
5	2	5	【基盤整備課】 白山林道管理 一般経費	60,326	64,855	岐阜県森林公社より受託した白山スパー 林道の維持に関する経費。	50
			共済費 191 賃金 4,919 報償費（開通式記念品） 35 旅費 77 需用費（パトロール車タイヤ等消耗品他） 2,156 役務費 133 委託料（道路維持・除雪等） 41,882 使用料（雪おくりまつり機械） 399 工事請負費（舗装工事） 14,979 負担金（白山林道運営協議会他） 84				
5	2	6	【基盤整備課】 地籍調査事業	1,192	2,046	地籍の明確化を目的に、飯島地内にて図 根三角測量 1.98k m ² を実施した。 国 1/2 県 1/4 村 1/4	50 ～ 51
			旅費 8 需用費（消耗品） 23 役務費（自動車保険料） 36 委託料（飯島地区測量） 1,628 使用料（自動車・大型プリンタ等） 351				

主要施
策

6款 商工費

- 総務課
- 観光振興課

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
6	1	2	【観光振興課】 商工会補助事業	3,000	3,000	運営費補助を行ったことにより、良好で健全な組織活動が図られた。 商工会補助金 3,000	51
6	1	2	【観光振興課】 企業誘致政策 関連経費	7,679	6,287	国等機関とのパイプ作り、職員育成、企業誘致支援等の強化を図った。企業誘致は複数社との協議を進めている。この内、8月に賃貸受託建設に向け着工されている。 旅費 841 需用費(借上住宅燃料費他) 166 委託料(政策顧問委託料) 4,800 使用料(住宅借上料) 480	51
6	1	2	【観光振興課】 地域商品券事業	0	3,623	プレミアムが付いた商品券を発行することで、村内での村民の購買意欲が向上し、村内商工業に対する振興が図られた。 地域商品券事業補助金 3,623 (白川村地域商品券実行委員会)	51
6	1	3	【観光振興課】 誘客宣伝事業	2,118	2,809	観光促進に向けたイベントにおいてハルティグッズを配布しPR活動に利用した。 自然観光資源を活かしたロングトレイル構想を進めるため、コースの選定・整備を進めた。 報償費(海外誘客ハルティ他) 363 旅費(費用弁償他) 705 需用費(事務消耗品他) 367 役務費(申請書作成) 14 委託料(ロングトレイル基礎調査委託) 1,050 使用料(民間施設優待券購入費) 310	52

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
6	1	3	【観光振興課】 白山国立公園 管理事業	0	1,307	国立公園内の施設等環境保全を目的に、園地内の草刈り・ゴミ拾い等を実施したことにより、園地内の安全・美化・環境保全等が図られた。 委託料（公園内施設整備他） 1,307	52
6	1	3	【観光振興課】 おもてなし国 際化補助事業	299	390	Wi-Fi 環境整備、タブレット端末、パンフ等各営業者が行う外国人受け入れの強化に対し本助成制度を活用することで外国観光客へのおもてなしが図られた。 国際化事業補助金 6 件 390	52
6	1	3	【観光振興課】 踊り街道フェスティ バル開催事業	16,281	16,980	村内伝統芸能の対外発信、後継者育成が図られた。規模の大きなイベントを開催することで、各保存会のモチベーション向上、保存会同士の連携にも繋がる。 踊り街道フェスティバル開催事業補助金 （白川村文化遺産活用観光マネジメント実行委員会） 16,980 H24 おける事業名「観光計画策定事業」	52
6	1	3	【観光振興課】 大白川園地施 設整備事業	0	863	大白川野営場への誘客を目的に、トイレ水洗化工事及びテントサイトのウッドデッキ設置工事を実施したことにより、野営場の施設環境の向上が図られた。 設計管理 863 （南側公衆トイレ水洗化改修工事 380） （第二キャンプサイト改修工事 189） （観瀑台改修工事 294） 工事請負費 0 ※大白川園地施設整備事業（H27 繰越）	52

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
6	1	3	【観光振興課】 駐車場等交通 整理事業	5,904	9,844	荻町区中心部の交通対策に向け、週末を 中心に乗り入れ制限を行った。H26 通年 実施への弾みとなった。	52
			誘導看板製作委託料 199 車両交通整理等警備委託料 9,645				
6	1	3	【観光振興課】 観光協会補助 事業	9,315	9,277	運営費補助を行ったことにより、良好で 健全な組織活動が図られた。	52
			おもてなし講習会業務委託 277 観光協会事業補助金 9,000				
6	1	3	【観光振興課】 南部地区活性 化支援事業	456	5,171	南部地区活性化を目的に、住民組織にお ける主体的な取り組みに対する支援によ り、ウォーキングの開催や、鍋全国大会への出 場により優勝するなど成果があった。	52
			大白川ウォーキング 2013 事業委託料 1,269 南部地区名物料理開発事業交付金 3,902				
6	1	3	【観光振興課】 地区外合掌家 屋保存事業	888	6,864	地区外合掌の棟茅助成の実施、であいの 館雪による破損補修により保存が図られ た。 ※であいの館は保険対応	52
			工事請負費（保存財団車庫） 6,000 補助金（棟茅・差茅事業 3 件） 864				

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
6	1	3	【観光振興課】 荻町合掌集落 窓明り点検事 業	450	450	窓明かり点検を行う事により、点灯状況 や器具の安全確認等ができ、白川村を訪れ た際の観光客のおもてなしに繋がる。 荻町合掌集落窓明り点検委託料 450	52
6	1	3	【観光振興課】 飛騨観光案内 所委託事業	427	404	公共交通の玄関口である、高山駅前案内 所での白川郷への案内を委託することで 白川郷への誘客促進に繋がった。 (H25年で委託事業終了) 飛騨高山観光案内所観光案内委託料 404	52
6	1	3	【観光振興課】 さくら街道誘 客推進事業	886	583	高山市と連携して、さくら街道スタンプラ ーを実施することにより、国道156号沿線 関係観光施設への誘客・滞在時間の増に繋 がる。 報償費(スタンプラー商品) 6 需用費(スタンプラー商品食糧費他) 510 役務費(道の駅案内中部版広告料) 67	52
6	1	4	【総務課】 消費者行政スター トアップ事業	0	88	悪徳商法による被害を未然に防止する ことを目的に冊子を配布した。 「みんなで防ごう悪徳商法」冊子 全戸配布(530部) 88	52

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
6	1	3	【観光振興課】 荻町地区公園 整備事業	0	4,164	旧荻町駐車場の公園整備化に向けた実施設計、診療所跡地のバスターミナル化調査業務を実施した。木製ベンチを購入し、くつろげる空間を提供した。 公園整備事業実施設計委託料 2,835 白川診療所跡地調査事業委託料 1,050 木製ベンチ7基 備品購入 279	52
6	1	3	【観光振興課】 小水力発電施設 管理経費	0	24,928	余剰売電から全量売電に更新するために、受電設備の機器取替え修繕等を行った。これにより売電による利益が増加したことなどから基金へ積立金が大幅に増加した。 賃金（施設保守監督業務1名） 231 需用費（受電設備取替他） 2,319 役務費（遠隔監視通信料） 43 委託料（保守点検・維持管理） 5,960 使用料（発電施設使用料他） 22 請負工事費（売電化接続点変更） 2,100 負担金（中電売電化配線工事） 491 基金積立金（しらみずのたけ基金） 13,762	52
6	1	3	【観光振興課】 しらみずの湯 施設管理経費	0	2,956	しらみずの湯施設へ供給していた電力を全量売電に更新したため、100%購入となった。このため、しらみずの湯施設が使用する電気料を全額負担している。 需用費（光熱水費） 2,915 委託料（受電設備保安管理業務） 41	52
6	1	3	【観光振興課】 観光パンフレット等 作成事業		4,660	観光基本計画に基づき、観光の問題点を明らかにし、問題の解消をはじめ、今後の展開・見通し・目標の情報共有を図る。 需用費(パンフ・ポスター・管区基本計画他)4,132 役務費（パンフレット等送付料） 528	52

6 款 商工費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
6	1	4	【総務課】	0	1	村民から消費者生活に関する相談に対応するため、担当としてレベルアップを目的とした研修に参加した。	52
			消費者生活相談員等レベルアップ事業			制度研修等普通旅費 9 件	
6	1	5	【観光振興課】	73,492	5,667	せせらぎ公園・寺尾駐車場の管理整備を行うことで来訪者の安心・安全と快適な観光に繋がるよう取り組んでいる。	53
			せせらぎ公園管理事業			需用費 (であいの館屋根修繕料)	
						委託料 (せせらぎ公園手摺補修)	350
						請負工事費	4,477
						(寺尾臨時駐車場区画線復旧)	1,327
						(せせらぎ公園手摺修繕)	3,150

主要施策

7款 土木費

- 基盤整備課

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
7	1	1	【基盤整備課】 先導的官民連携支援事業	0	6,300	合掌街道、国道 156 号及び国道 304 号の防災・交通・観光・情報拠点づくりのための調査及び検討を行った。 世界遺産合掌街道の防災・交通・観光・情報の総合拠点づくり調査委託料 6,300	53
7	2	1	【基盤整備課】 平瀬街並み環境整備事業	200	181	南部地域の景観を整備するため平成 17 年度に設立された協議会への交付金。 中切地区まちづくり協議会活動交付金 181	54
7	2	2	【基盤整備課】 除雪関係事業	116,518	88,559	冬期の生活路線を確保するために行った道路機械除雪、消融雪に使用した除雪関係費用。 需用費 8,557 (融雪剤等消耗品 1,084) (除雪車用燃料費 2,870) (融雪設備用光熱水費 2,191) (融雪パイプ・舗装等修繕 2,412) 役務費(除雪機点検手数料他) 1,463 委託料(道路除雪委託他) 78,495 使用料(除雪施設遠方監視サービス他) 11 負担金(であい橋融雪マット電気料) 73	54
7	2	2	【基盤整備課】 村道補修工事	15,881	34,284	村道において路面の陥没、側溝蓋の破損など、道路施設の破損を補修することにより、安全で快適な通行が確保できた。 需用費(村道舗装補修等 40 件) 18,407 委託料(下田・内ヶ戸線草刈) 44 工事請負費 15,770 (鳩谷 6 号線補修 2,739) (鳩谷小呂線法面改良 2,759) (村道側溝改修 857) (平瀬幹線消雪改修 2,034) (鳩谷飯島幹線側溝蓋改修 7,165) (平瀬幹線側溝蓋改修 213) 原材料費(補修用アスファルト合材) 63	54 ～ 55

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
7	2	2	【基盤整備課】 社会資本整備 総合交付金事業 (道路維持)	0	82,574	橋梁、トンネル、舗装の老朽化による劣化を補修することにより安全で快適な通行が確保できた。	54
			委託料 21,224 (馬狩隧道補修等設計 19,680) (路面性状調査 1,544) 工事請負費 61,350 (有家ヶ原橋改修 20,706) (戸ヶ野島線法面改良 2,709) (鳩谷飯島幹線舗装 37,935)				
7	2	2	【基盤整備課】 社会資本整備 総合交付金事業 (道路維持) ※繰越事業	0	50,000	老朽化した道路施設の改良を行うため、平成24年度予算計上した事業分の工期延長に伴い本年度中に事業が完了した。	54
			委託料 7,000 (馬狩隧道点検委託料 6,000) (路面性状調査 1,000) 工事請負費 43,000 (鳩谷6号線側溝改修 3,000) (平瀬幹線消雪改修 40,000)				
7	2	3	【基盤整備課】 県単改良事業	2,570	18,727	岐阜県が進める国道改良事業に対する村負担金を交付。念願であった牧地内の登坂車線工事に着手。	55
						負担金 18,727 (R156 牧地区登坂車線工事及び保木脇地内水路改修)	
7	2	3	【基盤整備課】 社会資本整備 総合交付金事業 (新設改良)	179,477	23,134	法面の防護や落石対策工を設置することにより安全な通行が確保できた。	55
			委託料 9,342 (荻町下コソ線退避所設置設計 4,244) (村道法面对策工事設計 5,098) 工事請負費 13,792 (御母衣長瀬線法面改良 13,792)				

7 款 土木費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
7	2	3	【基盤整備課】 村道椿原芦倉 線改良事業 ※繰越事業	0	7,060	国道 156 号に設置されたスノーシェット [®] による村道芦倉椿原線への雪崩予防のため擁壁を設置し安全な通行が確保できた。 工事請負費（椿原芦倉線改良工事）7,060	55
7	2	3	【基盤整備課】 社会資本整備 総合交付金事業（新設改良） ※繰越事業	0	63,998	老朽化した法面对策工を施し道路への落石対策を行うため、平成 24 年度予算計上した事業分の工期延長に伴い本年度中に事業が完了した。 工事請負費 63,998 （戸ヶ野島線法面改良 9,610） （鳩谷小呂線法面改良 19,765） （荻町戸ヶ野島線法面改良 34,623）	55
7	3	1	【基盤整備課】 河川堤防除草 経費	354	391	一級河川庄川の平瀬地内堤防除草を行い河川の維持管理を図ることができた。 平瀬地内河川堤防除草委託費 391	55
7	3	1	【基盤整備課】 普通河川臨時 経費	1,103	4,814	普通河川（馬狩谷、宮谷等）を適正に維持管理することができている。 需用費 4,499 （馬狩谷取水口土砂除去修繕 609） （馬狩谷河川土砂除去修繕 1,575） （馬狩谷草刈修繕 315） （宮谷川河川管理道修繕 2,000） 委託料（普通河川等管理業務） 315	55

主要施策

8款 消防費

- 総務課

8 款 消防費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
8	1	2	【総務課】 村内消防団補助経費	796	488	年末夜警と出初式の挙行により、地域の安心安全の確保及び、消防団の士気高揚に繋げることができた。	57
			村内消防団補助金			487	
8	1	2	【総務課】 防火クラブ補助事業	126	180	女性防火クラブの活動を支援することで、火災予防思想の普及や防災知識の習得、更には消防行事に積極的な協力が出来た。	57
			女性防火クラブ事業補助金			180	
8	1	2	【総務課】 地域防災計画見直し事業	39	530	土砂災害やダム放流による水害に関する避難情報の発信により自主防災意識の向上が期待できる。	56
			需用費 (白川村ハザードマップ 1,000 部印刷)			530	
8	1	2	【総務課】 県消防操法大会経費	5,000	33,323	H26 年度、岐阜県消防操法大会が本村で開催されるにあたり、会場整備や大会実行委員会大会の設置、事務員の増員など大会準備に万全を来すことが出来た。	56 ～ 57
			報償費 (大会準備事務)			308	
			旅費 (普通旅費)			51	
			工事請負費 (防災グラウンド舗装)			25,909	
			交付金 (大会出場隊訓練)			2,055	
			基金積立金 (大会開催積立金)			5,000	
8	1	2	【総務課】 大野郡消防協会事業	455	437	飛騨 3 市 1 村による消防連携強化が期待できる。	56 ～ 57
			旅費 (費用弁償・普通旅費)			29	
			負担金 (飛騨地区消防協会等)			408	

8 款 消防費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
8	1	3	【総務課】 消防備品購入 経費	1,160	282	デジタル記録媒体の機器更新により、災害時等の状況や出動の様子などの記録保存が鮮明かつ安易になった。 記録映像機器類購入 282	57
8	1	3	【総務費】 小型動力ポンプ 積載車購入事業	0	7,391	住民の安心安全を守る消防団が多岐にわたり活動するに必要不可欠な消防設備の更新によって一層強化されることが期待できる。 役務費(登録手数料他) 90 備品購入費(積載車1台) 7,277 公課費(積載車重量税1台) 24	57
8	1	3	【総務費】 小型動力ポンプ 付軽積載車購 入事業	0	4,963	住民の安心安全を守る消防団が多岐にわたり活動するに必要不可欠な消防設備の更新によって一層強化されることが期待できる。 役務費(登録手数料他) 84 備品購入費(軽積載車1台) 4,872 公課費(軽積載車1台) 7	57
8	1	3	【総務課】 防災行政無線 設備改修事業	193,808	44,166	屋外制御装置は自局放送機能により地域の自主防災活動に活用できるよう進化したほか、戸別受信機には録音機能や非常用ライト常備されるなど、設備更新によって住民の防災や減災が一層強化された。 委託料(防災無線デジタル化設計) 1,470 工事請負費(デジタル化改修) 42,696	57

主要施策

9款 教育費

- 総務課
- 教育委員会

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	1	2	【教育委員会】 学校等保健安全委員会交付金事業	533	1,034	児童生徒及び教員の健康保持を目的に健診や環境調査を実施し、病気の早期発見の機会を得ることができた。	58 ～ 59
			賃金 (スクールカウンセラー 1 名) 150 旅費 (スクールカウンセラー費用弁償) 21 需用費 (消耗品他) 13 役務費 (不用品廃棄手数料) 205 委託料 395 (オーディオメーター検査料 21) (職員健康診断他 374) 備品購入費 38 負担金 212				
9	1	2	【教育委員会】 事務局臨時経費	1,947	14,022	小中学校の活動及び環境向上を目的に琴臣プロジェクトやランチルームエアコン等の実施し、礼儀作法やランチルーム等の環境向上の成果があった。	58 ～ 59
			賃金 (事務補助 1 名) 49 報償費 (琴臣プロジェクト講師謝礼) 160 旅費 (教諭研修等費用弁償) 767 需用費 (来客等昼食他) 224 役務費 (廃棄物処分手数料) 7 委託料 883 (小学校ランチルームエアコン設置設計 294) (中学校スロープ屋根設置設計 378) (小中 CP ウィルス対策保守 151) (交響楽団用楽器運搬業務 60) 使用料 (教員用温泉入浴券) 270 工事請負費 6,662 (小学校ランチルームエアコン設置 4,723) (中学校スロープ屋根設置 1,939) 積立金 (坂本振興基金) 5,000				

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書	
款	項	目		24 年度	25 年度			
9	1	2	【教育委員会】 小中一貫教育 推進事業	1,130	6,154	小中一貫教育推進を目的に、講演や学園 リーフレット作成を実施し、専門家の話を聞き、 区長会を通じて学園周知の成果があった。	58 ～ 59	
						報償費（講師謝礼）		10
						旅費（講師費用弁償）		20
						需用費（リーフレット 1000 部他）		178
						委託料	5,702	
						（中学校体育館耐震診断	2,804	
						（中学校体育館付帯設計	1,985	
						（中学校体育館トイレ改修設計	556	
						（白川郷学園表示作成	357	
						備品購入費（タブレット保管具）	244	
9	1	2	【教育委員会】 児童生徒輸送 経費	9,845	10,172	南部および馬狩地区の児童生徒の登下 校を目的に両地区スクールバス等の運行を実施 し、安全に送迎した成果があった	58 ～ 59	
						需用費（車両用燃料費他）		1,968
						役務費（車検手数料他）		1,126
						委託料（通学バス等運行業務）		6,964
						使用料（車検時車両リース代 1 台）		37
						公課費（車両重量税 3 台）		77
9	1	2	【教育委員会】 子育て教育推 進事業	1,801	4,375	第 3 子以降及びひとり親世帯の子育て に係る負担軽減を目的に、給食費の補助及 び高校通学に要する費用の交付を実施し、 子育て世帯を応援する成果があった。	59	
						補助金（第 3 子以降児童及び母子・父子家 庭児童生徒給食費免除 40 名）		2,076
						交付金（高校通学費等助成 20 名）		2,299
9	1	2	【教育委員会】 歯医師・薬剤師 報酬	224	224	児童生徒の健康保持を目的に学校歯科 医・薬剤師の派遣を実施し、口腔、環境衛 生の向上する成果があった。	58	
						報酬		224
						（歯科医師 1 人		120
						（薬剤師 1 人	104	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	1	2	【教育委員会】 ふれあい塾事業	180	180	土日及び長期休暇中に開催する里山遊び塾にて、係る経費(食糧費、子どもの送迎費等)の支払いを行っている。	59
			補助金 (事業補助金)			180	
9	1	1	【教育委員会】 白川村教育委員会事業	366	550	教職員の研鑽を目的に講演会や研修を企画・実施し、資質向上の成果があった。	59
			補助金 (事業補助金)			550	
9	1	2	【教育委員会】 学校施設整備事業	0	2,848	学校環境の向上を目的に、白中校長室の壁・実験台・ふれあいブリッジ修理、学園プール改修設計を実施し、学習環境の向上に成果があった。	59
			需用費			1,157	
						(白中学校長壁修理 312)	
						(白中理科室実験台修理 727)	
						(ふれあいブリッジ 雨樋修理 118)	
						委託料 (学園プール改修工事設計) 1,691	
9	1	2	【教育委員会】 奨学資金給付金	100	200	高校通学費用の負担軽減を目的に奨学資金給付を実施し、経済的援助の成果があった。	60
			扶助費 (奨学資金)			200	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
9	1	2	【教育委員会】 小坂育英資金 交付金	300	300	上級学校通学費用の負担軽減を目的に育英資金給付を実施し、経済的援助の成果があった。	59
			扶助費 (H25 小坂育英資金交付)			300	
9	2	1	【教育委員会】 白川小学校管 理臨時経費	731	379	小学校の学習環境整備を目的に教育用資材等備品購入を実施し、学習効果の向上成果があった。	60
			教育用資機材等備品購入			379	
9	2	2	【教育委員会】 特別支援教育 就学奨励事業 (小学校)	77	67	児童の就学奨励を目的に助成の支給を実施し、特別支援学級在籍による負担を軽減する成果があった。	60
			特別支援教育就学奨励扶助費			67	
9	3	1	【教育委員会】 白川中学校管 理臨時経費	3,686	1,456	中学校の学習環境整備を目的に教育用資材等備品購入を実施し、学習効果の向上成果があった。	61
			教育用資機材等備品購入			1,456	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	3	1	【教育委員会】 研修交付金事業	24	86	中学 2 年の生徒のキャリア学習を目的に高山市内での職場体験を実施し、将来設計の実体験として成果があった。	61
			中学 2 年生職場体験研修交付金 86				
9	3	1	【教育委員会】 自然教室事業 交付金事業	118	132	中学 1 年の生徒の自然環境学習を目的にトヨ自然学校での体験を実施し、身近すぎて気づきにくい村の自然を体験する成果があった。	61
			中学 1 年生トヨ白川郷自然学校研修交付金 132				
9	3	1	【教育委員会】 進学就職指導 交付金事業	65	64	中学生の進路支援を目的に志望校へ書類連絡や引率党指導を実施し、中学生の進路決定する成果があった。	61
			中学生の進学就職に係る交付金 64				
9	3	2	【教育委員会】 特別支援教育 就学奨励事業 (中学校)	0	12	生徒の就学奨励を目的に助成の支給を実施し、特別支援学級在籍による負担を軽減する成果があった。	61
			特別支援教育就学奨励扶助費 12				

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	3	2	【教育委員会】 中学校部活動 支援事業	278	223	中学生部活の支援を目的に県大会以上の大会出場に係る旅費支給を実施し、各部活の活動を支援する成果があった。 白中部活動に係る補助金 223	61
9	4	1	【教育委員会】 社会教育総務 臨時経費	558	278	家庭教育学級の交付金及び、乳幼児学級の支援を行い、子どもの発達段階に合わせ保護者の悩み等を講師の先生に聞いていただき、家庭での子育てを充実させた。 報償費（乳幼児学級等講師謝礼） 60 旅費（乳幼児学級等講師費用弁償） 26 需用費（乳幼児学級等消耗品他） 117 使用料（高齢者学級研修会場） 60 補助金（家庭教育学級） 15	61 ～ 62
9	4	1	【教育委員会】 ALT 招致事業	4,464	4,660	児童生徒の英語学習推進を目的に、計画及び補助教員として授業に関わり、保育園訪問を実施し、発音や生活文化を学習する成果があった。 報酬（ALT2 名 4/12・8/12） 3,694 共済費（社会保険料 2 名） 542 報償費（英文書作成謝礼） 66 旅費（ALT 費用弁償） 80 役務費（ALT 渡航時荷物運搬他） 50 負担金（ALT 傷害保険負担金） 228	61
9	4	1	【教育委員会】 放課後子ども 教室推進事業	221	221	小学生の郷土への誇りと愛着が芽生えることを目的として、トヨタ自然学校にプログラムを委託したことにより、幅広い体験を積むことができた。 委託料（放課後子ども教室） 221	62

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	4	1	【教育委員会】 社会教育推進 事業補助金	476	448	「輝く我が子のために・自分のために」 を掲げ、中日文化センターに村へ来ていた だき、現在は3講座を展開。入会金、受講 料の1部を負担した。受講者約50名。 生涯学習講座開催等負担金 448	62
9	4	2	【教育委員会】 公民館臨経費	900	890	各地区の公民館へ補助金として分配し、 活動費として使用している。南部地区での 盆踊りの開催や、村民文化祭を開催し、多 くの方が来場された。 公民館運営連絡協議会補助金 890	62
9	4	2	【総務課】 コミュニティ助成事業	5,000	1,700	宝くじ助成金を活用した地域コミュニティ育 成のための交付金。 南部地区公民館運営委員会：音響設備 交付金 1,700	62
9	4	2	【総務課】 戸島多目的集 会施設塗装工 事	0	3,806	戸島多目的集会施設は村柔道場と兼ね ているため、戸島区40%、村60%の負担 をした。 委託料（屋根塗装改修設計） 257 工事請負費（屋根塗装改修工事） 3,549	62

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書	
款	項	目		24 年度	25 年度			
9	4	3	【教育委員会】 旧藤坂家管理 経費	0	29	旧藤坂家の暫定的な維持管理を目的に 管理経費を計上した。旧藤坂家の維持を行 うことができた。	63	
			旧藤坂家屋根雪下し管理委託料			29		
9	4	3	【教育委員会】 保存財団事業 補助金	15,000	11,000	世界遺産集落を保存するために行う事 業について、保存財団に助成することで集 落整備事業を適正に行う事ができた。	63	
			世界遺産合掌造り集落整備事業を目的とし た事業に要るための補助金			11,000		
9	4	3	【教育委員会】 保存財団運営 補助金	5,000	3,700	合掌造り合掌財団の運営に関わる経費 を補助金交付し、財団の健全な運営が図ら れた。	63	
			合掌造り合掌財団の運営経費に係る補助 金			3,700		
9	4	3	【教育委員会】 荻町伝建地区 保存事業	58,778	41,668	伝統的建造物の保存を目的に 5 件の修 理事業を行ったことにより、良好な保存状 態を保ち活用することができた。	62 ～ 63	
						旅費（文化庁 2 名費用弁償・旅費等）		128
						需用費（補助金申請用消耗品他）		99
						公有財産購入費（土地購入）		1,145
						補助金（保存修理事業 5 件）		40,296

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	4	3	【教育委員会】 世界遺産保存 指定寄付金	3,150	2,954	世界遺産保存を目的として募金いただいた寄付金を、合掌財団が所管する保存指定寄付金に積み立てるために、合掌保存財団へ寄附金として支出した。	63
			世界遺産保存指定寄付金			2,954 (保存財団に対する寄付金)	
9	4	3	【教育委員会】 茅育成事業	1,600	481	屋根材の茅の自給率向上を目的に下田に1件、飯島吉原谷に1件の茅場を造成することができた。村管理の茅場を約3haとなり、村内茅の供給に向け茅場が整ってきた。	63
			茅育成事業委託料			481 (下田、馬狩、脇谷、計3地区)	
9	4	3	【教育委員会】 文化財保護臨時経費	8,763	1,695	歴史的価値のある資源を掘り起こす目的で、平成15年にリストアップした候補物件を文化財指定にするための調査を行い今年度新たに3件の追加指定ができた。	62
			報償費(審議委員7件)			140	～
			旅費(審議会等費用弁償他)			203	63
			需用費(放水銃5基修繕他)			354	
			委託料(防災施設台帳管理システム)			998	
9	4	3	【教育委員会】 旧遠山家住宅 修理事業	41	94	平成27年度に、旧遠山家住宅の保存修理事業を行うにあたり、修理後の活用について協議を行った。また、修理事業に係る設計方針が整った。	62
			報償費(有識者1名)			20	～
			旅費(有識者費用弁償)			67	63
			需用費(有識者昼食代)			7	

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決 算 額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	4	3	【教育委員会】 荻町伝建地区保 存臨時経費	69	553	平成 23 年度に更新した放水銃格納箱の 特殊板材を確保することで、今後の放水銃 施設の維持修繕を安価かつ迅速に行える ことができるようになった。	62
			需用費（有識者昼食代） 54 原材料費（放水銃格納箱） 499				
9	4	3	【教育委員会】 世界遺産合掌造 り集落保存基金 積立金	37,703	11,891	せせらぎ公園駐車場の景観協力金の関係 事業充当後の余剰金を基金に積み立てる ことができた。 年度末現残高 24,449 千円である。	63
			世界遺産合掌造り集落保存基金積立金 11,891				
9	4	4	【教育委員会】 成人式開催事業	500	500	実行委員会を青年会へ依頼し、若きリダ として自覚と責任を芽生えさせると共に、 新成人の門出を祝福した。25 年度は 13 名 が成人を迎えた。	63
			成人式開催事業補助金（実行委員会） 500				
9	4	4	【教育委員会】 多目的集会施設 管理経費	626	336	戸島多目的施設 2 階柔道場年間経費分 (電気料、上下水道の 3 分の 2)を支払い。	63
			多目的集会施設管理委託料 336				

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	4	4	【教育委員会】 少年スポーツ振興 交付金事業	67	59	ジュニアスポーツクラブへの補助金の交付に加え、スポーツ振興事業交付金を分配したことにより、積極的な活動が行われている。 少年スポーツ振興事業交付金 (JSC) 59	63
9	4	4	【教育委員会】 青少年研修補 助事業	0	1,000	小学校6年生を対象とし、「ひとりだち」を目標とし、夏の交流では沖縄で3泊4日の民泊を体験。ひとりだちに向け大きく成長することができた。 沖縄県読谷村子ども会との交流事業補助金 (読谷村17名白川村15名交流) 1,000	63
9	4	4	【教育委員会】 青少年育成村 民会議補助事 業	1,065	1,305	青年会、子ども会、ジュニアスポーツクラブへの補助金を助成することで、積極的な活動が行われている。 青少年育成村民会議補助金 1,305 (青年会・子ども会・ジュニアスポーツ3団体)	63
9	4	6	【教育委員会】 若者等創作活 動施設管理事 業	1,102	1,062	電気料、上下水道、燃料代、管理委託料、消耗品費など施設管理を行うことで、施設の充実化に努め、安心して快適な施設利用ができた。 賃金 (カルチャーセンター清掃員) 315 報償費 (夜間管理1名) 60 需用費 (カルチャーセンター光熱水費他) 554 役務費 (カルチャーセンター電話料他) 60 委託料 (消防保守点検業務) 15 使用料 (清掃用具他) 55 負担金 (テレビ組合費) 3	64

9 款 教育費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
9	4	6	【教育委員会】 若者等創作活動施設屋根改修事業	0	4,879	屋根の経年劣化により、防水処理及び全面塗装を行ったことで、施設の長寿命化を図ることができた。	64
			委託料 (カルチャーセンター屋根塗装設計) 257 工事請負費 (カルチャーセンター屋根塗装工事) 4,622				
9	5	1	【教育委員会】 保健体育総務一般経費	1,087	3,206	小中学生及びスキークラブ員のリフトシーズン券の助成を行った。また、ジュニアスポーツクラブや部活動で東海大会以上に出場した生徒に懸垂幕を作成するなど支援を行った。	64 ～ 65
			報償費 (スキークラブ・JSC 指導者) 604 旅費 (JSC 研修等参加費用弁償他) 141 需用費 (大会激励懸垂幕等消耗品) 343 使用料 (スキー場シーズン券購入) 2,049 負担金 (県スポーツ連絡協議会負担金他) 69				
9	5	1	【教育委員会】 体育協会補助事業	800	800	体育協会は、13 の部があり、飛騨大会や県大会に参加するなど積極的な活動をされている。また、村民向けの各種体育大会を開催している。	64 ～ 65
			白川村体育協会補助事業 800				
9	5	3	【教育委員会】 学校給食車整備事業	0	2,470	給食運搬車の更新を目的にリフト付きの運搬車購入を実施し、給食の運搬を安心安全に実行する成果があった。	65 ～ 66
			役務費 (自動車損害保険料) 31 備品購入費 (普通車リフト改造込) 2,415 公課費 (自動車重量税) 24				

主要施策

10款災害復旧費

- 基盤整備課

10 款 災害普及費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
10	1	2	【基盤整備課】 林業用施設災害復旧事業	0	2	林道災害復旧事業に向けた資機材整備 需用費(測量用消耗品) 2	66
10	1	2	【基盤整備課】 牛首林道災害復旧事業	0	6,369	大雨により被災した牛首林道の復旧工事災害による通行止めの解除に繋がった。 工事請負費(牛首林道災害復旧) 6,369	66
10	2	1	【基盤整備課】 公共土木施設災害復旧事業	0	5	土木災害事業に使用する消耗品 需用費(災害査定設計歩掛表消耗品) 5	66
10	2	1	【基盤整備課】 飛騨白川 PA 排水路復旧事業 ※繰越事業	4,220	9,836	飛騨白川 PA からの排水管の破損による法面崩壊が発生したため、排水管布設替え及び法面崩落対策工により復旧。大雨時の道路溢水の防止に繋がった。 工事請負費(排水路復旧工事) 9,836	66

主要施策

11款 公債費

- 総務課

11 款 公債費

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内 容 (成果)	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
11	1	1	【総務課】 公債費元金	265,353	304,556	<p>一般会計における普通建設事業等のため借り入れを行った村債について、元金を返済した。</p> <p>公債費元金 304,556</p> <p>(地方公共団体金融機構 7,052)</p> <p>(財務省東海財務局 131,890)</p> <p>(岐阜県市町村振興協会 23,500)</p> <p>(ゆうちょ銀行 38)</p> <p>(JA 白川支店 75,536)</p> <p>(かんぽ生命保険 66,540)</p>	66
11	1	2	【総務課】 公債費利子	32,147	30,751	<p>一般会計における普通建設事業等のため借り入れを行った村債について、利子を返済した。</p> <p>公債費利子 30,751</p> <p>(地方公共団体金融機構 2,208)</p> <p>(財務省東海財務局 21,787)</p> <p>(岐阜県市町村振興協会 171)</p> <p>(ゆうちょ銀行 1)</p> <p>(JA 白川支店 3,709)</p> <p>(かんぽ生命保険 2,875)</p>	66

主要施策

特別會計

- 目的別

主要施策

国民健康保険 (事業勘定の部)

- 村民課

国民健康保険特別会計（事業勘定の部）

【歳入】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
国民健康保険料	47,978	20.5	42,889	19.3	△ 5,089	△ 10.6	
使用料及び手数料	0	0.0	0	0.0	0	—	
国庫支出金	40,808	17.5	55,940	25.2	15,132	37.1	
療養給付費等交付金	14,690	6.3	7,108	3.2	△ 7,582	△ 51.6	
前期高齢者交付金	60,834	26.0	51,318	23.1	△ 9,516	△ 15.6	
県支出金	15,290	6.5	14,835	6.7	△ 455	△ 3.0	
財産収入	210	0.1	175	0.1	△ 35	△ 16.7	
繰入金	23,401	10.0	8,789	4.0	△ 14,612	△ 62.4	
繰越金	30,384	13.0	16,366	7.4	△ 14,018	△ 46.1	
共同事業交付金	0	0.0	24,299	11.0	24,299	皆増	
諸収入	0	0.0	5	0.0	5	皆増	
歳入合計	233,595	100.0	221,724	100.0	△ 11,871	△ 5.1	
【歳出】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
総務費	2,983	1.4	3,456	1.7	473	15.9	
保険給付費	128,526	59.2	132,949	63.5	4,423	3.4	
前期高齢者納付金当	29	0.0	31	0.0	2	6.9	
後期高齢者支援金等	27,343	12.6	29,562	14.1	2,219	8.1	
介護納付金	10,674	4.9	11,779	5.6	1,105	10.4	
共同事業拠出金	22,838	10.5	23,182	11.1	344	1.5	
保健事業費	1,810	0.8	2,438	1.2	628	34.7	
基金積立金	15,150	7.0	175	0.1	△ 14,975	△ 98.8	
諸支出金	7,876	3.6	5,854	2.8	△ 2,022	△ 25.7	
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—	
老人保健拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0	
歳出合計	217,230	100.0	209,427	100.0	△ 7,803	△ 3.6	

■平成25年度決算の概要

保険料収入については、国保加入世帯（被保険者数）、所得の減等の理由により保険料収入が減額となってきた。

医療費については、入院件数は減少傾向にある一方、1件あたりの高額な医療費負担が生じているため保険給付費等が増加している。基金繰入金は無かったが、国庫支出金等精算で返還金が発生しており実質繰越金は無いような状況である。

国民健康保険特別会計（事業勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決算額		内容（成果）	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
7	1	1	【村民課】 特定健康診査 等事業費	1,201	1,249	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防に努めることができた。 手数料（特定保健指導） 73 委託料（健康診査） 1,176	14
7	2	1	【村民課】 保健衛生普及費	608	1,188	国保加入者の健康増進を図るため、住民健診の実施や医療費通知書を発送し、健康管理の啓発を行った。 需用費（高齢者運動会昼食代他） 121 役務費（医療費通知作成手数料） 20 委託料（国保分住民健診） 947 負担金（国保連合会 1ヵ年分） 100	14
8	1	1	【村民課】 基金積立金	15,150	175	財源不足が生じ際の自主財源として基金を保有しており、基金保有額に係る利息分を同基金へ積立を行った。 基金積立金 175 （年度末基金保有額 29,190）	14

主要施策

国民健康保険 (直診勘定の部)

- 村民課

国民健康保険特別会計（直診勘定の部）

【歳入】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
診 療 収 入	63,819	62.1	61,973	63.2	△ 1,846	△ 2.9		
介護サービス収入	0	0.0	0	0.0	0	—		
使用料及び手数料	352	0.3	364	0.4	12	3.4		
繰 入 金	25,567	24.9	23,113	23.6	△ 2,454	△ 9.6		
繰 越 金	5,318	5.2	8,130	8.3	2,812	52.9		
諸 収 入	4,492	4.4	4,457	4.5	△ 35	△ 0.8		
村 債	3,300	3.2	0	0.0	△ 3,300	皆減		
歳 入 合 計	102,848	100.0	98,037	100.0	△ 4,811	△ 4.7		
【歳出】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
総 務 費	58,739	62.0	56,948	63.7	△ 1,791	△ 3.0		
医 業 費	33,001	34.8	30,304	33.9	△ 2,697	△ 8.2		
公 債 費	2,978	3.1	2,192	2.5	△ 786	△ 26.4		
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—		
歳 出 合 計	94,718	100.0	89,444	100.0	△ 5,274	△ 5.6		

■平成25年度決算の概要

【歳入の部】

歳入合計前年度比較 4,811 千円、4.7%減の理由といたしまして、繰越金が 2,812 千円増により、繰入金が 2,454 千円減、医療機器、往診車の購入がなかったことによる村債が減 3,300 千円の減が主な要因となっています。また、診療収入分に関しましては、外来患者数が減った事や、高額医療者の減により 1,846 千円の減収になりました。

【歳出の部】

歳出合計前年度比較 5,274 千円、5.6%減の理由といたしまして、総務費で往診車購入の減、医業費で医療機器の購入の減、公債費では、平成 12 年の医療機器整備事業債の返済が終わった事による減となっています。

国民健康保険特別会計（直診勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決 算 額		内 容（成果）	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	1	【村民課】 診療所改修事業	774	1,444	<p>安心安全な診療環境を確保する目的で外来用トイレ、玄関自動ドア、ボイラー煙突撤去を実施した結果上記目的が達成された。</p> <p>新白川診療所建設に向け、基本設計を実施した事により上記目的を達成した。福祉センターの活用に係る安全性を調べるため耐震診断を行った結果適正であると判断され安全安心なくつろぎスペースの提供に寄与できた。</p> <p>需用費 215 （トイレ・玄関自動ドア・ボイラー修繕）</p> <p>委託料 1,229 （新白川診療所基本設計 284） （老人福祉センター耐震診断 945）</p>	8
2	1	1	【村民課】 医療用機械整備事業	3,649	1,344	<p>窓口業務のIT化・機能強化を目的に医事用コンピュータをH21.に更新した結果、診療報酬のオンライン請求、窓口業務の迅速化が図られた。H26.からは再リースとなった。</p> <p>使用料（医事用PCリース料2台） 1,344</p>	9
2	1	4	【村民課】 検査委委託等経費	731	834	<p>患者の血液検査を正確・迅速に行うためファルコバイオシステムズ（旧飛騨臨床検査センター）に委託を行っている結果、上記目的を達成している。</p> <p>委託料（血液検査等両診療所分） 834</p>	9

主要施策

簡易水道

- 基盤整備課

簡易水道特別会計

【歳入】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
使用料及び手数料	22,600	47.4	20,244	33.9	△ 2,356	△ 10.4		
繰入金	20,217	42.4	28,831	48.3	8,614	42.6		
繰越金	4,892	10.3	87	0.1	△ 4,805	△ 98.2		
村債	0	0.0	10,500	17.6	10,500	皆減		
歳入合計	47,709	100.0	59,662	100.0	11,953	25.1		
【歳出】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
総務費	29,283	61.5	33,450	56.1	4,167	14.2		
公債費	18,340	38.5	26,142	43.9	7,802	42.5		
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—		
歳出合計	47,623	100.0	59,592	100.0	11,969	25.1		

■平成25年度決算の概要

【歳入の部】

給水人口が減少したことにより使用料金収入が減となりました。使用料の減収を補填するため及び、公債費に係る経費が増えたため、一般会計からの繰入金を増額しました。

【歳出の部】

安定した水道水の供給を目的に、鳩谷地区に新たに配水管を布設する大郷給水区配水管新設工事を行ったために総務費が増額しました。また、大郷簡易水道改良事業に係る公債費の償還期間が始まったことにより増額しました。

簡易水道特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	2	【基盤整備課】 施設管理経費	23,949	25,151	<p>大郷給水区配水管新設工事を実施したことにより鳩谷地区に安定して水を送れるようになった。</p> <p>報償費(水質検査1名) 36 需用費 5,816 (配水管・量水計等修繕料 2,439) (消毒用塩素他消耗品 261) (水道施設電気料 3,116) 役務費(給水施設監視電話料他) 179 委託料 5,690 (大郷給水区配水管新設設計 1,313) (村内給水区管理業務 1,702) (水質検査・配水管洗浄 2,675) 使用料(平瀬配水池等敷地料) 80 工事請負費 12,996 (大郷給水区配水管新設工事 10,052) (牧給水区流量計更新工事 2,944) 原材料費(直読式量水器他) 354</p>	6
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	1,161	19,159	<p>施設整備に要した起債を、計画的に償還するための経費。</p> <p>事業債償還金元金 19,159 (地方公共団体金融機構 1,088) (財務省東海財務局 18,071)</p>	7
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	7,178	6,983	<p>施設整備に要した起債に係る利息を支払うための経費。</p> <p>事業債償還金元金 6,983 (地方公共団体金融機構 2,651) (財務省東海財務局 4,332)</p>	7

主要施策

温泉開発

- 基盤整備課

温泉開発特別会計

【歳入】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
使用料及び手数料	18,756	23.1	18,934	27.1	178	0.9	
財産収入	60	0.1	0	0.0	△ 60	皆減	
繰入金	57,967	71.4	44,509	63.7	△ 13,458	—	
繰越金	12	0.0	6,404	9.2	6,392	53266.7	
諸収入	4,446	5.5	0	0.0	△ 4,446	皆減	
歳入合計	81,241	100.0	69,847	100.0	△ 11,394	△ 14.0	

【歳出】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
総務費	25,232	33.7	22,296	32.4	△ 2,936	△ 11.6	
公債費	49,605	66.3	46,480	67.6	△ 3,125	△ 6.3	
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—	
歳出合計	74,837	100.0	68,776	100.0	△ 6,061	△ 8.1	

■平成25年度決算の概要

【歳入の部】

小水力発電施設の全量売電への変更に伴い、温泉開発特別会計にて経理を一般会計に移したことにより諸収入の皆減となった。また、合わせて基金についても経理を一般会計に移したことにより財産収入が皆減となりました。一方、小水力発電施設工事業が翌年度に持ち越されたため繰越金が増となりました。

【歳出の部】

総務費にあつては、小水力発電施設に係る収益金を基金へ積み立てを行っていたが、基金に係る経理を一般会計に移したことに伴い基金積立金皆減となったことが主な要因です。

公債費にあつては、起債額を計画的に償還しています。起債残額の減少にともない年間償還額が減少しています。

温泉開発特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	1	【基盤整備課】 施設・送湯管修繕	9,889	9,983	温泉の安定給湯を目的に、源泉施設設備の計器やバルブ等の修繕。また、源泉から平瀬地区間の温泉管を重点的に点検の実施及び修繕を行った。この結果、安定した温泉供給ができた。 需用費（井戸スケール除去・ポンプ修繕他） 9,983	6
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	47,383	44,762	温泉設備のために借入れた起債額の償還金。 事業債償還金元金 44,762 (株)かんぽ生命保険 32,008 (財務省東海財務局 12,754)	6
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	2,222	1,718	温泉設備のために借入れた起債額に係る利息分の支払い。 事業債償還金元金 1,718 (株)かんぽ生命保険 1,276 (財務省東海財務局 442)	6

主要施策

白弓スキー場

- 観光振興課

白弓スキー場特別会計

【歳入】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
事業収入	1,935	6.7	4,961	24.4	3,026	156.4		
繰入金	26,783	93.2	13,536	66.5	△ 13,247	△ 49.5		
繰越金	32	0.1	1,844	9.1	1,812	5662.5		
歳入合計	28,750	100.0	20,341	100.0	△ 8,409	△ 29.2		
【歳出】							(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)		
	決算額	構成比	決算額	構成比				
総務費	231	0.9	252	1.3	21	9.1		
運営管理費	21,397	79.5	13,872	71.5	△ 7,525	△ 35.2		
公債費	5,279	19.6	5,279	27.2	0	0.0		
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—		
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—		
歳出合計	26,907	100.0	19,403	100.0	△ 7,504	△ 27.9		

■平成25年度決算の概要

【歳入】

平成25年度は特に大きな事故や雪不足による休業もなく営業できたことや、昨年度まで地元小中学生に向けて割引販売していたシーズン券の割引分を教育委員会から補填したこともあり、リフト券収入の増額となった。また事故もなかったことから繰入金の減額、繰越金は増額したものの、合計としては29%の減となった。

【歳出】

平成25年度は特に大きな事故や故障もなかったことから、大きな索道修繕やキュービクル落雷事故に伴う修繕のあった前年度と比べ運営管理費（索道管理費）が減額。歳出全体額としても減となった。

白弓スキー場特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
2	1	1	【観光振興課】 圧雪管理事業	4,800	4,800	シーズン中のゲレンデ整備を目的に圧雪管理を長年携わっている業者に委託したことにより、シーズンを通して滞りなく営業が出来た。 委託料(圧雪業務委託料) 4,800	6
2	1	1	【観光振興課】 索道管理費	10,895	3,352	老朽化も進むスキー場唯一の第2ロマンスリフトの管理を目的に索道保守業務、技術的な整備管理を実施したことにより、事故もなく安全に運行することが出来た。 旅費(索道技術管理研修他) 10 需用費 1,383 (リフト修繕 745・リフト電気料 638) 役務費(リフト保安業務手数料) 58 委託料 1,864 (索道施設保守業務 557) (索道技術管理業務 157) (リフト機器取付・取外業務他 1,150) 負担金(中部鋼索交通協会) 37	6
3	1	1	【観光振興課】 公債費元金	5,029	5,094	平成15年に実施した第2ロマンスリフト延線工事費用の公債費元金の償還 事業債償還金元金 5,094 (株かんぽ生命保険 5,094)	7
3	1	2	【観光振興課】 公債費利子	250	185	平成15年に実施した第2ロマンスリフト延線工事費用の公債費利子の償還 事業債償還金元金 185 (株かんぽ生命保険 185)	7

主要施策

公共下水道

- 基盤整備課

公共下水道特別会計

【歳入】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
分担金及び負担金	646	0.1	267	0.1	△ 379	△ 58.7	
使用料及び手数料	29,616	6.3	28,554	15.5	△ 1,062	△ 3.6	
財産収入	459	0.1	552	0.3	93	20.3	
繰入金	423,160	90.4	140,188	76.0	△ 282,972	△ 66.9	
繰越金	607	0.1	1,113	0.6	506	83.4	
国庫支出金	3,830	0.8	7,200	3.9	3,370	88.0	
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—	
村債	9,800	2.1	6,500	3.5	△ 3,300	△ 33.7	
歳入合計	468,118	100.0	184,374	100.0	△ 283,744	△ 60.6	
【歳出】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
総務費	72,278	15.5	76,811	41.9	4,533	6.3	
公債費	394,727	84.5	106,655	58.1	△ 288,072	△ 73.0	
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—	
歳出合計	467,005	100.0	183,466	100.0	△ 283,539	△ 60.7	

■平成25年度決算の概要

財政安定化を図るため、公債費の削減を目的として平成24年度までに利率の高い起債を優先的に繰上償還してきたことにより、起債残高が減少し公債費に係る費用が大幅に削減することができました。

こうした取り組みにより、元利償還金に充当していた一般会計からの繰入金を削減することができました。

平成24年度は、白川クリーンセンターの電気機械設備を計画的に更新するための長寿命化計画を作成しましたが、平成25年度はその計画に基づき詳細設計業務を行いました。これにより詳細設計業務に係る国費の増となった。

公共下水道特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	1	【基盤整備課】 下水道等基金費	5,000	5,000	今後必要とされる、処理場の大規模改修や汚泥処分機の設置を目的とした積立金 積立金 5,000 (年度末保有額 95,000)	7
1	1	3	【基盤整備課】 特定環境保全公共下水道事業	7,973	14,490	白川クリーンセンターの機械電気設備類が経年劣化により老朽化が進行することから、長寿命化を図るため、計画的な修繕、更新を行うための詳細設計を行った。 委託料 14,490 (クリーンセンター長寿命化詳細設計)	8
2	1	1	【基盤整備課】 公債費元金	354,530	96,762	下水道事業を行うために借入れた下水道債及び過疎債の償還金。利率の高い起債の繰上償還を行い起債残高の削減を進めた。 事業債償還金元金 96,762 (地方公共団体金融機構 13,448) (財務省東海財務局 83,314) ※(うち、繰上償還分 77,491)	8
2	1	2	【基盤整備課】 公債費利子	40,197	9,893	下水道事業を行うために借入れた起債の利子。 事業債償還金元金 185 (地方公共団体金融機構 8,505) (財務省東海財務局 1,388)	8

主要施策

介護保険 (保険事業勘定)

- 村民課

介護保険特別会計（保険事業勘定）

【歳入】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
保 険 料	33,372	17.8	33,806	18.1	434	1.3	
使用料及び手数料	0	0.0	1	0.0	1	皆増	
国 庫 支 出 金	43,675	23.2	44,552	23.8	877	2.0	
支 払 基 金 交 付 金	51,874	27.6	48,873	26.2	△ 3,001	△ 5.8	
県 支 出 金	26,316	14.0	24,981	13.4	△ 1,335	△ 5.1	
財 産 収 入	32	0.0	32	0.0	0	0.0	
繰 入 金	29,069	15.5	28,982	15.5	△ 87	△ 0.3	
繰 越 金	3,516	1.9	5,634	3.0	2,118	60.2	
諸 収 入	0	0.0	1	0.0	1	皆増	
歳 入 合 計	187,854	100.0	186,862	100.0	△ 992	△ 0.5	
【歳出】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
総 務 費	3,080	1.7	3,413	1.9	333	10.8	
保 険 給 付 費	172,337	94.6	170,003	94.3	△ 2,334	△ 1.4	
地 域 支 援 事 業 費	3,904	2.1	4,334	2.4	430	11.0	
諸 支 出 金	2,867	1.6	2,563	1.4	△ 304	△ 10.6	
基 金 積 立 金	32	0.0	32	0.0	0	0.0	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—	
歳 出 合 計	182,220	100.0	180,345	100.0	△ 1,875	△ 1.0	

■平成25年度決算の概要

平成25年度は第5期事業の3年目となり、事業運営は順調が運営された。

保険給付費は170,002千円で、前年度より2,334千円の減額となりました。介護サービス給付費が増加しており、要介護認定者の数はほとんど変動無いが、全体に介護度が重度化したことが増加の要因と推測される。

第5期事業計画の推計の積算が過少なこと、第5期の保険料増額が過少であることから、次期計画期間（H26～H28）以降は、さくら山荘の増床などにより保険料の大幅なUPをしなければならなくなる見込みである。

介護保険特別会計（保険事業勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決 算 額		内 容（成果）	決算書
款	項	目		24 年度	25 年度		
2	1	1	【村民課】 居宅介護サービス 給付費	38,959	107,343	要介護認定を受けた被保険者が、居宅介護サービスを利用した際、そのサービス費を給付する。平成 25 年度の給付費上昇は、さくら山荘入所者の介護度が重度化したことが原因と考えられる。 ----- 負担金（国保連合会） 107,343	11
3	1	1	【村民課】 介護予防事業	50	32	村が地域づくりを通じて効果的・効率的な介護予防の取組を推進できるよう技術的支援を行う事業。包括支援センターが行う予防事業から社会福祉協議会が行う事業に変更したため減額となった。 ----- 委託料（介護予防事業） 179	11
5	1	1	【村民課】 財政調整基金積立金	32	32	介護保険事業の健全な財政運営に資するための積立金。 ----- 積立金（財政調整基金） 32 （年度末基金保有額 1,506）	11

介護保険

主要施策

(サービス事業勘定)

- 村民課

介護保険特別会計（サービス事業勘定の部）

【歳入】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
サービス収入	391	11.1	226	6.9	△ 165	△ 42.2	
繰越金	3,145	88.9	3,071	93.1	△ 74	△ 2.4	
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—	
歳入合計	3,536	100.0	3,297	100.0	△ 239	△ 6.8	
【歳出】						(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
総務費	464	100.0	574	100.0	110	23.7	
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—	
歳出合計	464	100.0	574	100.0	110	23.7	

■平成25年度決算の概要

【歳入の部】

歳入においては、前年比収入額が6.8%（23万9千円）の減となった。主な要因としては、サービス収入においてケアマネジメント対象者の減少によって16万5千円の減となったことによります。

【歳出の部】

歳出においては、介護予防ケアマネジメント委託料及び管理システム利用料が主な事業であります。

介護保険特別会計（サービス事業勘定の部）

（単位：千円）

科目コード			事業名	決算額		内容（成果）	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
1	1	1	【村民課】 一般管理費	464	574	要支援者を対象に介護予防ケアマネジメントを行うことを目的としており、適切な介護予防サービスの提供に努めた。 需用費（プリンター等消耗品） 185 役務費（情報通信料） 88 委託料（介護予防ケアマネジメント） 49 使用料（介護システムASPリース料） 252	6

主要施策

後期高齢者医療

- 村民課

後期高齢者医療特別会計

【歳入】					(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
後期高齢者医療保険料	15,842	67.7	17,232	67.7	1,390	8.8
使用料及び手数料	0	0.0	0	0.0	0	—
後期高齢者医療 広域連合支出金	577	2.5	619	2.4	42	7.3
繰入金	6,835	29.2	7,300	28.7	465	6.8
繰越金	153	0.7	285	1.1	132	86.3
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
歳入合計	23,407	100.0	25,436	100.0	2,029	8.7
【歳出】					(単位：千円)	
款 別	平成24年度		平成25年度		差引増減	前年度伸率(%)
	決算額	構成比	決算額	構成比		
総務費	549	2.4	549	2.2	0	0.0
後期高齢者医療 広域連合納付金	21,982	95.1	23,874	94.8	1,892	8.6
保険事業費	591	2.6	755	3.0	164	27.7
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	23,122	100.0	25,178	100.0	2,056	8.9

■平成25年度決算の概要

後期高齢被保険者は24年度(4/1)282人、25年度(4/1)289人

25年度の保険料収納率 99.97%

後期高齢者医療特別会計

(単位：千円)

科目コード			事業名	決算額		内容(成果)	決算書
款	項	目		24年度	25年度		
2	1	1	【村民課】 後期高齢者医療 広域連合納付金	21,982	23,874	後期高齢者医療は事務が広域化されているため、納付された保険料及び事務費に係る経費を負担金として広域連合へ支出した。	6
			負担金 23,874 (保険料負担金 17,284) (広域連合事務費負担金 6,590)				
3	1	1	【村民課】 保険事業	591	725	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、健康診査を行うことにより、生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防に努めることができた。	6
			委託金 755 (後期高齢者検診委託料 725) (検診データ処理業務委託料 30)				